

文京区議会 災害対策調査特別委員会研究会

コロナ禍における 都市自治体の防災対策

令和2年11月26日(木)

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部

(元 板橋区危機管理担当部長、板橋区議会事務局長)

鍵屋 一

祝！男鹿のナマハゲら来訪神 ユネスコ 無形文化遺産！ 2018年11月29日



ナマハゲは（災害）ボランティア！

■平時は五穀豊穰、家内安全
を祈る来訪神

■災害時は、要配慮者情報（ナマ
ハゲ台帳）に基づいて避難支援



- 避難場所（神社）を日頃から使う
- 避難場所までの参道を整備
- 確実な避難方法（同行避難）

命を守る防災のコツ

⇒早く逃げる

※地震は家を強くし、
家具を倒さない

コロナ禍とは無関係

命をつなぐ防災のコツ

⇒上手に支援される

生活を取り戻すコツ

⇒早く復旧復興する

コロナ禍と大きく関係

新型コロナウイルス対策と社会経済活動

○蔓延すると医療体制がひっ迫する

→他の傷病者の治療も十分にできなくなる

○致死率はそれほど高くない

→ただし、高齢者、基礎疾患のある方は危険

○高齢者等が必要以上に、人や地域社会との交流を避けると、心身ともに弱くなる

○移動を制限すると経済活動が停滞し、社会全体が委縮する

⇒**コロナ対策がすべてではなく、経済がすべてでもない。完全を求めず半分動かす、半身の姿勢**

⇒**防災対策、特に南海トラフの半割れも同じ！**

新型コロナウイルス 避難生活お役立ちサポートブック（第2版）

制作：全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
避難生活改善に関わる専門委員会



※A4・カラー・40P
ダウンロード先
<https://00m.in/OU0Xv>



新型コロナウイルス禍・課題と不安

- 行政、医療・看護・保健・福祉の専門職を含む外部支援が得られにくい
- 3密を避けるレイアウトの作り方
- ゾーン分けの目安
- ゾーン分けをすることで不要な差別や排除を生まないか
- ライフラインや物品不足の中でも維持できる衛生環境の整え方



↓

知っていれば誰でもできる
複数の対応方法の提案
身近にあるものを工夫して使う
学校以外の施設でも使える

少人数・個別空間の確保

感染拡大を防ぐための最大の対処

具体的には・・・

- 自宅・親戚宅
- 車中泊
- 小中学校教室等の開放
- 公的小規模施設の活用
- ホテル等民間施設の活用



- ① 感染およびその疑いがある人と無症状者が交わらない
- ② 3密の回避（社会的距離・換気）
- ③ 咳エチケットを守る
- ④ 手洗い、アルコール消毒の徹底
- ⑤ 共用スペースの衛生管理
- ⑥ 動ける人には動いてもらう

この状態をいかに維持するか

各階間取図

- 感染者のみ使用可
- 症状のある人のみ使用可
- 濃厚接触者のみ使用
- スタッフ以外許可なく立入禁止
- ★ 感染予防着の着脱場所



感染者、症状のある人
濃厚接触者、
無症状（要配慮者含む）の
人が交わらない！

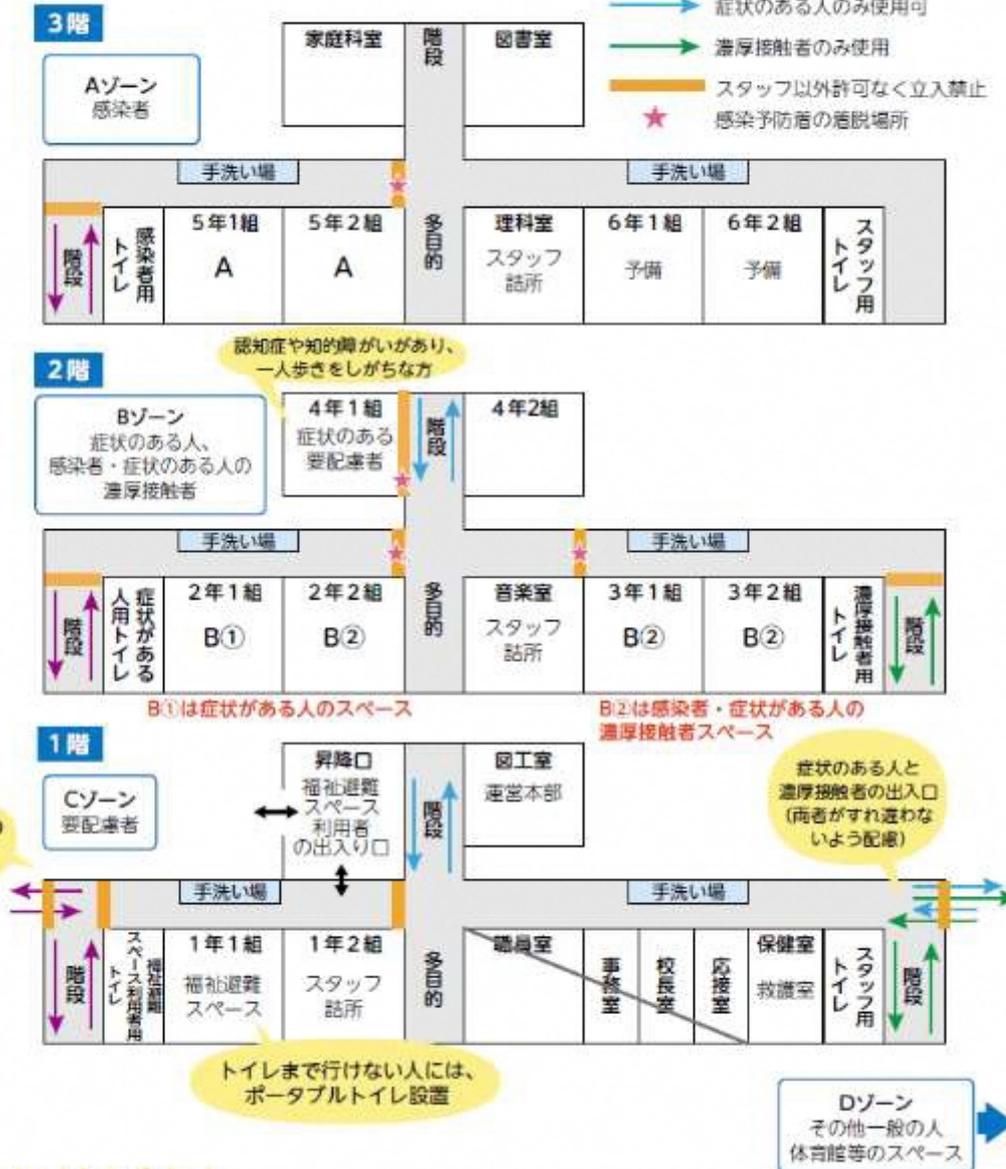
階段や廊下ですれ違わない



建物・フロアを分ける

トイレ、手洗い場を
共用しない

- フロアごとにできるだけスタッフを置く
- このエリアにいる人には、できるだけ行政職員、専門職が優先して対応



健康チェックリストで状態を把握 各ゾーンへの振り分け

健康チェックリスト ※全ての項目について聞き取りしてください。

感染確認・健康観察中の人

1	<input type="checkbox"/>	感染が確認されていて自宅隔離中でしたか？
2	<input type="checkbox"/>	感染が確認されている人の濃厚接触者で健康観察中でしたか？

新型コロナウイルス感染症等の症状のある人 (この1～2週間以内に始まった症状にチェックしてください)

3	<input type="checkbox"/>	37.5度以上の熱はありますか、または数日以内にありましたか？
4	<input type="checkbox"/>	ひどい咳はありますか？
5	<input type="checkbox"/>	下痢をしていますか？ (1日複数回)
6	<input type="checkbox"/>	においや味を感じにくいですか？

福祉避難スペースの対応が必要な要配慮者

7	<input type="checkbox"/>	介護や介助が必要ですか？
8	<input type="checkbox"/>	妊娠中ですか？
9	<input type="checkbox"/>	乳幼児がいますか？

感染した時に重症化しやすい、または配慮が必要な人

10	<input type="checkbox"/>	呼吸器疾患、糖尿病、高血圧、がんなどの持病はありますか？
11	<input type="checkbox"/>	気になる体調の変化や感染したかも知れないと心配な症状、避難所の生活で配慮が必要なことなどはありますか。 内容：

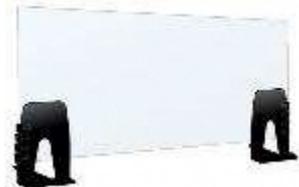
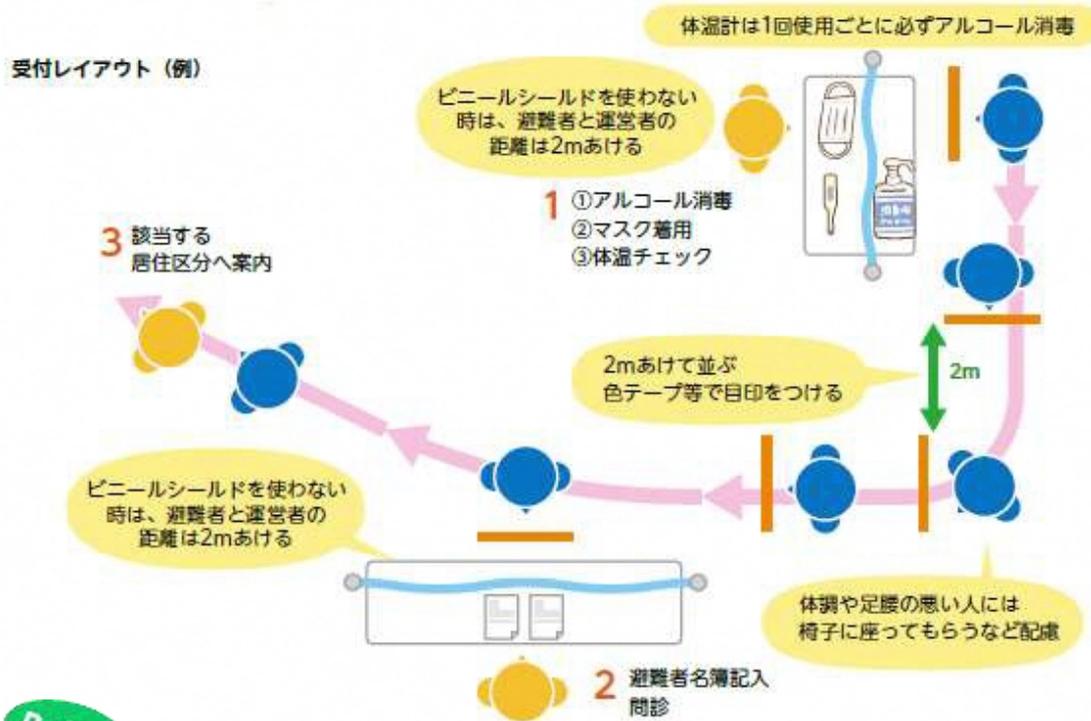
ゾーン	チェック	その人の状態
A	1	感染者
B	2～6	症状のある人 濃厚接触者 ※両者のスペースは、 交わらないようさらに 分ける
C	7～9	福祉避難スペースでの 対応が必要な人
D	10～11	感染リスクが高い 生活での配慮が必要 で継続見守り対象者
	なし	無症状・自立の人



- **避難所の短期開設、大規模災害の混乱期もここだけは優先して取り組む**
- 介護や介助、乳幼児世帯など、家族同士がどうしても離れられない場合は、密接はやむを得ないと考え、一緒にいることができる環境を作る

受付をつくる

人数や個人を特定する = 支援がしやすくなる



ブックエンド活用



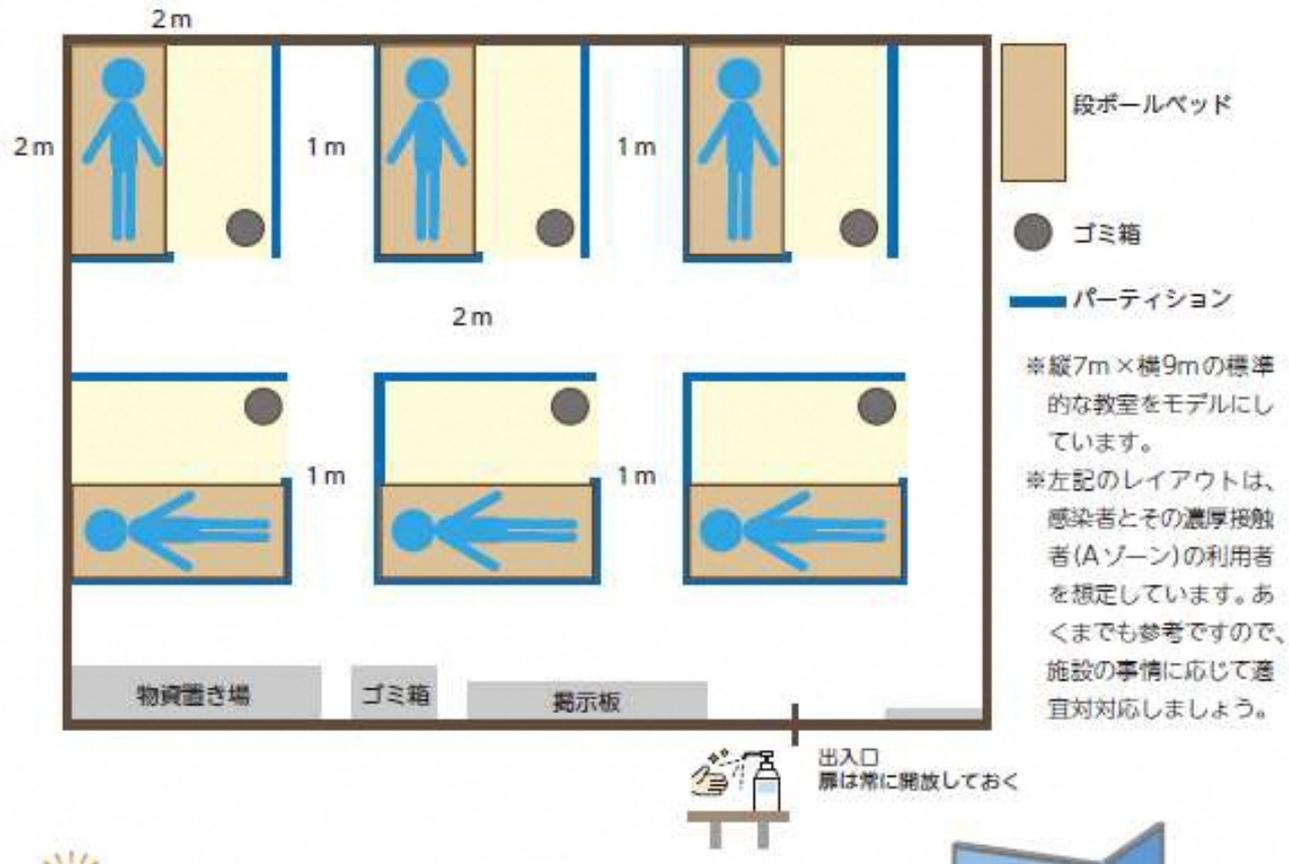
フェイスシールド



- 運営スタッフはマスク着用
- 避難者とは対面を避け、2mの距離を保つ
- マスクが足りない場合は、ビニールシールドを設置
- 混乱している場合は、**健康チェック→ゾーンへの案内**を優先して行う
- 聞き取り担当者を複数用意し、できるだけ短時間で対処できるようにする

感染者・症状のある人・濃厚接触者・要配慮者
教室・会議室等のレイアウト
おそらく対象者は少ない＝行政・専門職対応

教室レイアウト (例)

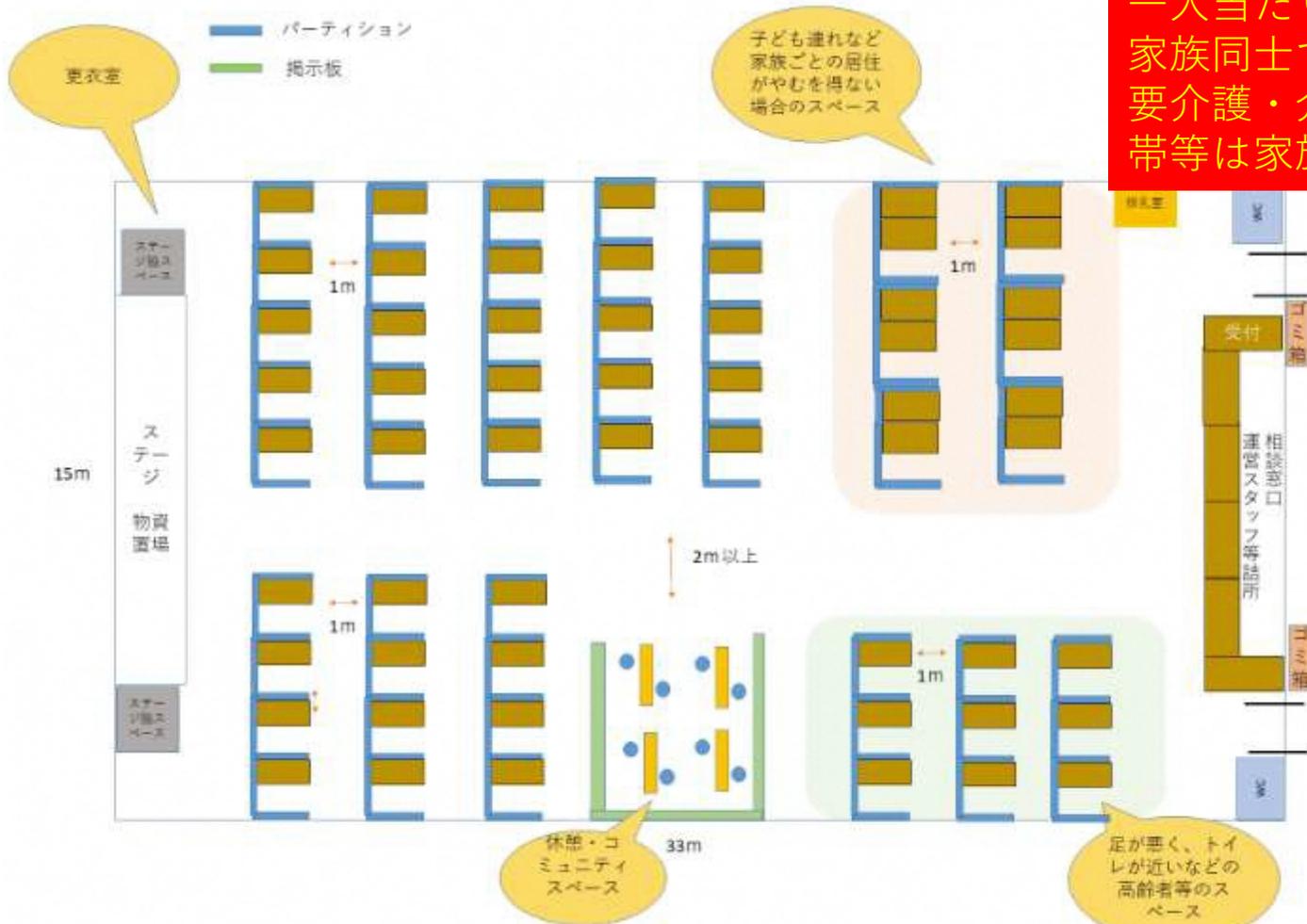


無症状者

大広間のレイアウト

おそらく対象者は多い = 住民自ら運営

一人当たり4㎡は確保
家族同士でも間隔あける
要介護・介助、乳幼児世帯等は家族一緒に



※縦33m×横15mの標準的な小学校の体育館をモデルにしています

心の健康を守る！

新型コロナウイルスはじめ感染症が拡大すると、不安やストレス、恐怖や不眠など心や体に様々な変化が起こりやすい。



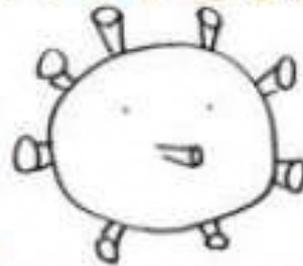
このような反応は特別なものではなく、**誰にでも起こり得る自然の反応**です。
ほとんどの場合は、**状況が改善すると同時に**おさまります。

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！ ～負のスパイラルを断ち切るために～

日本赤十字社

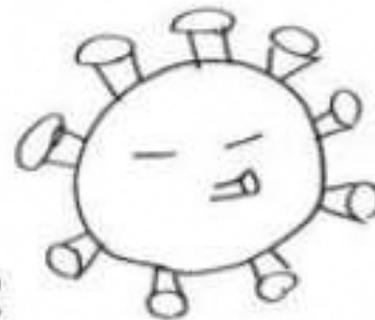
負のスパイラルで“感染症”が拡がる

③差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招く



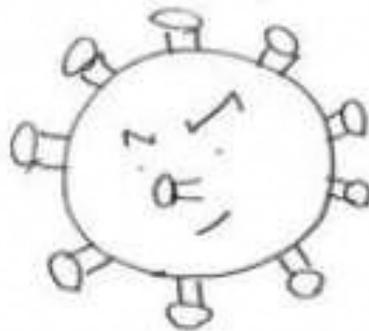
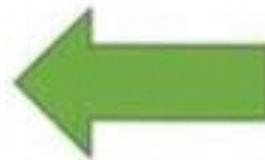
第1の“感染症”
「病気」

①未知なウイルスでわからないことが多いため不安が生まれる



第2の“感染症”
「不安」

②人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる人を遠ざける



第3の“感染症”
「差別」



3つの“感染症”は
どうつながっているの？

この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることであります。

心の健康を守るために

参考：茨城県 感染症および災害に関するメンタルヘルス 日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」～負のスパイラルを断ち切るために～

様々なニュースがあって、どれを信じればいいのか分からない。



信頼できるメディアのニュースを、1日の決まった時間帯に見る。

情報過多は、必要以上に不安や心配な気持ちを引き起こす原因になりうるため注意が必要。

ゾーン分けが不要な差別・偏見を生む可能性も

新型コロナウイルスの流行に直面し、私たちは強い不安を感じています。感染への不安や恐れによって、感染者や感染地域の人、職業などに対して偏見を持つ、嫌悪する、差別する、につながっています。

差別を防ぐ対策は？

- ▶ 確かな情報を取得する
- ▶ 差別的な発言には同調しない
- ▶ どのような人に対してもねぎらいの心を持ち、敬意を払う
- ▶ 誰もがかかる可能性がある病気であることを理解する

住民の主体性をサポート できなかった避難所の行く末



役割、触れ合い、充実感、責任感が
尊厳を守り、活力のある状態を維持する

感染を防ぐ＝「何もさせない」ではない

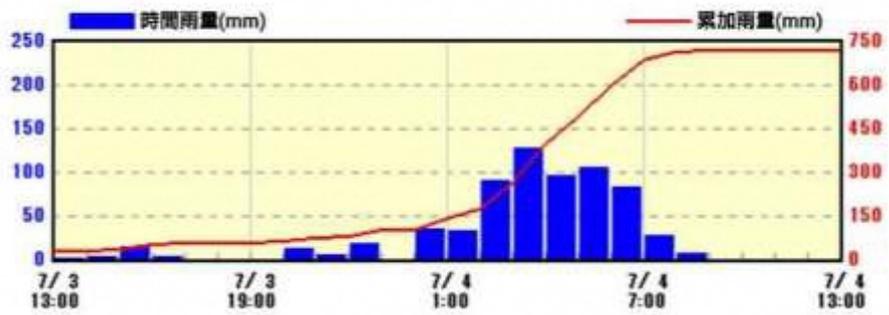
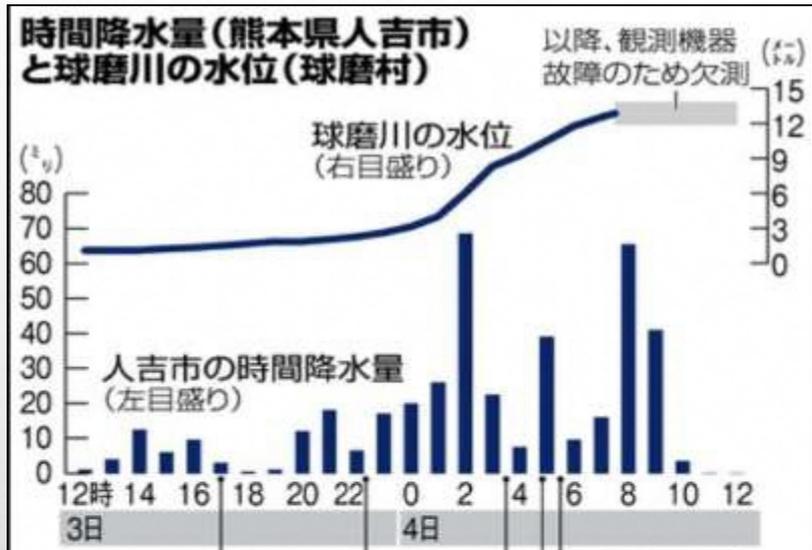
- より不衛生に
- 暮らしの感覚の低下
- 生活不活発病の増加
- 笑顔、協力、明るさの消失



避難者が運営に参加できる環境
を整えること＝自立支援



7時間で600mmの累加雨量！ 真夜中の避難指示



市房ダム
 防災操作開始水位基準値: 280.7 (m)
 7月4日 11:00am 実測値: 280.6 (m)

午前5時30分 国土交通省が球磨川支流・小川の氾濫を確認。球磨村に連絡

午前4時50分 気象庁が球磨村などに大雨特別警報を発表

4日午前3時30分 球磨川の水位が氾濫危険水位を超えそうになり、球磨村が避難指示を発表

午後10時20分 熊本県が球磨村などに土砂災害警戒情報を発表。それを受け、村が避難勧告を発表

3日午後5時 球磨村が避難準備・高齢者等避難開始を発表

球磨村に出された避難情報や警戒レベル相当情報



社会福祉法人 慈愛会
特別養護老人ホーム 千寿園



真備町避難所 2018年7月15日



コロナ禍での新しい「避難」生活様式

× 学校の体育館で雑魚寝

○ 少人数・分散避難生活

1. 家は大丈夫、火災もない

⇒ 自宅で暮らす（在宅避難！）

※ 避難所で情報と物資を受取る

2. 家が壊れた、周囲に火災発生

⇒ ホテル・旅館（2020年から）、親族・知人、福祉避難所・スペース、車！

災害被害の方程式

ハザード×人口(暴露量)

×社会の脆弱性

防災の正四面体

自助

(減災対策、家族情報、持ち出し品)

(新たな) 共助

ボランティア、
NPO、企業
など)→協定

近助

(従来からの共助)

近所、福祉、消防
団、自主防災会
など)

→コミュニティ活
動・防災訓練

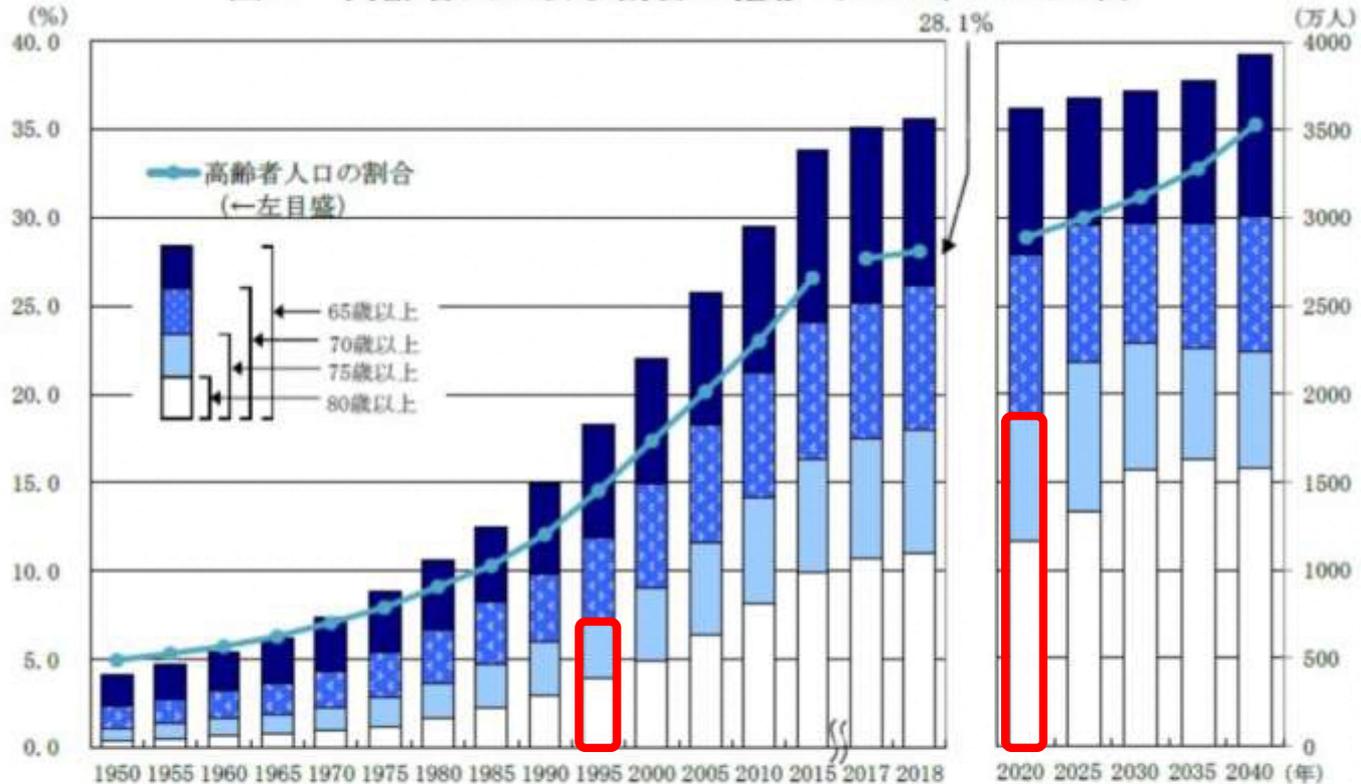
公助

行政(国、自治体、警察、消防、自衛隊)、病院、
学校など)→防災計画、BCP、広域連携

進み続ける高齢化！

75歳以上は25年で2.5倍 (出典:統計局HP)

図2 高齢者人口及び割合の推移 (1950年～2040年)



資料：1950年～2015年は「国勢調査」、2017年及び2018年は「人口推計」

2020年以降は「日本の将来推計人口（平成29年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計
（国立社会保障・人口問題研究所）から作成

注1）2017年及び2018年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在

2）国勢調査による人口及び割合は、年齢不詳をあん分した結果

3）1970年までは沖縄県を含まない。

激増する単身世帯！25年で3.2倍

(出典：令和元年高齢者白書)



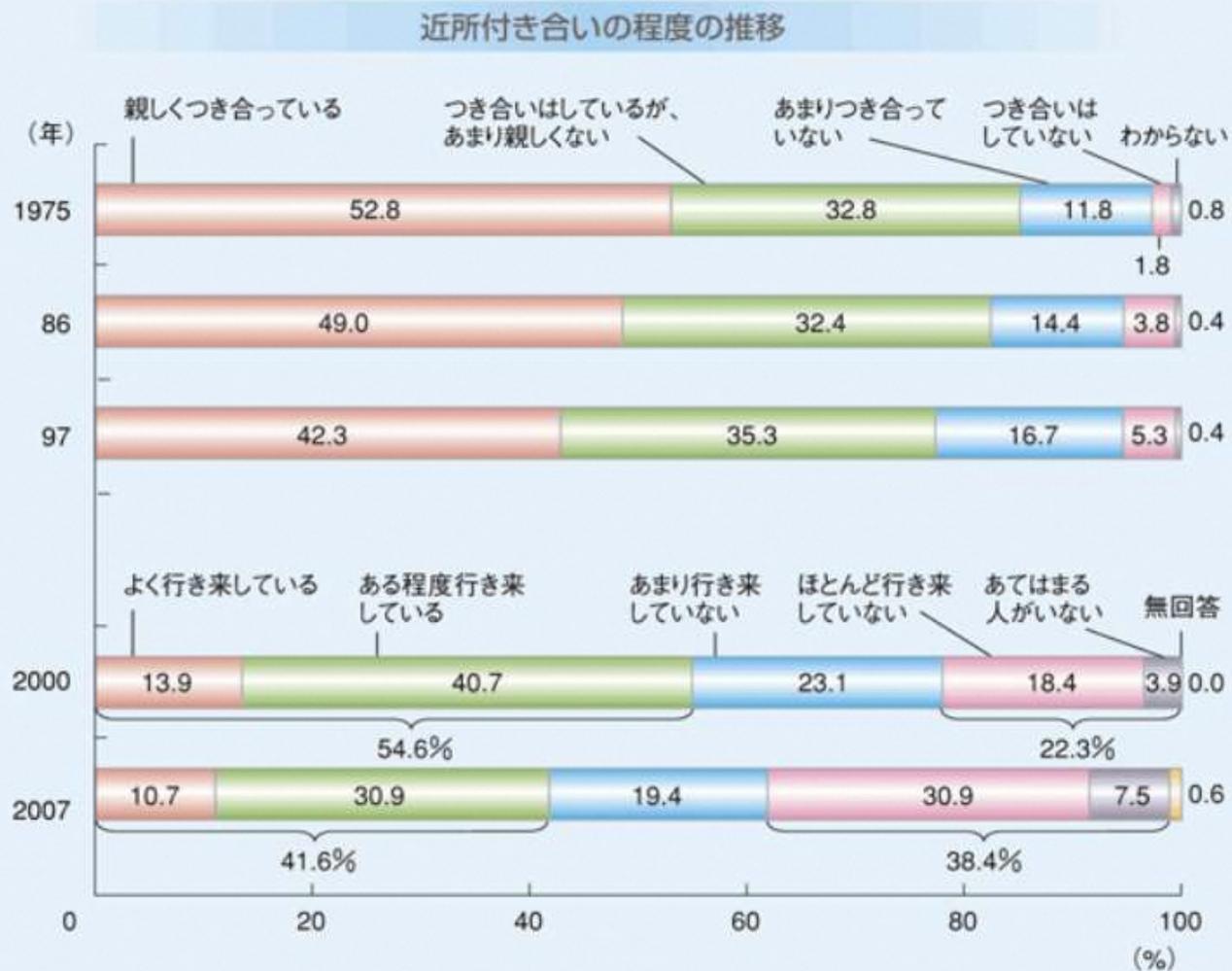
資料：平成27年までは総務省「国勢調査」による人数、令和2年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）2018（平成30年推計）」による世帯数
 (注1)「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」又は「一般世帯（1人）」のことを指す。
 (注2) 棒グラフ上の（ ）内は65歳以上の一人暮らしの者の男女別
 (注3) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

近所づきあいは減っている！

出典：平成19年版国民生活白書

第2-1-19図

近隣関係は希薄になっている

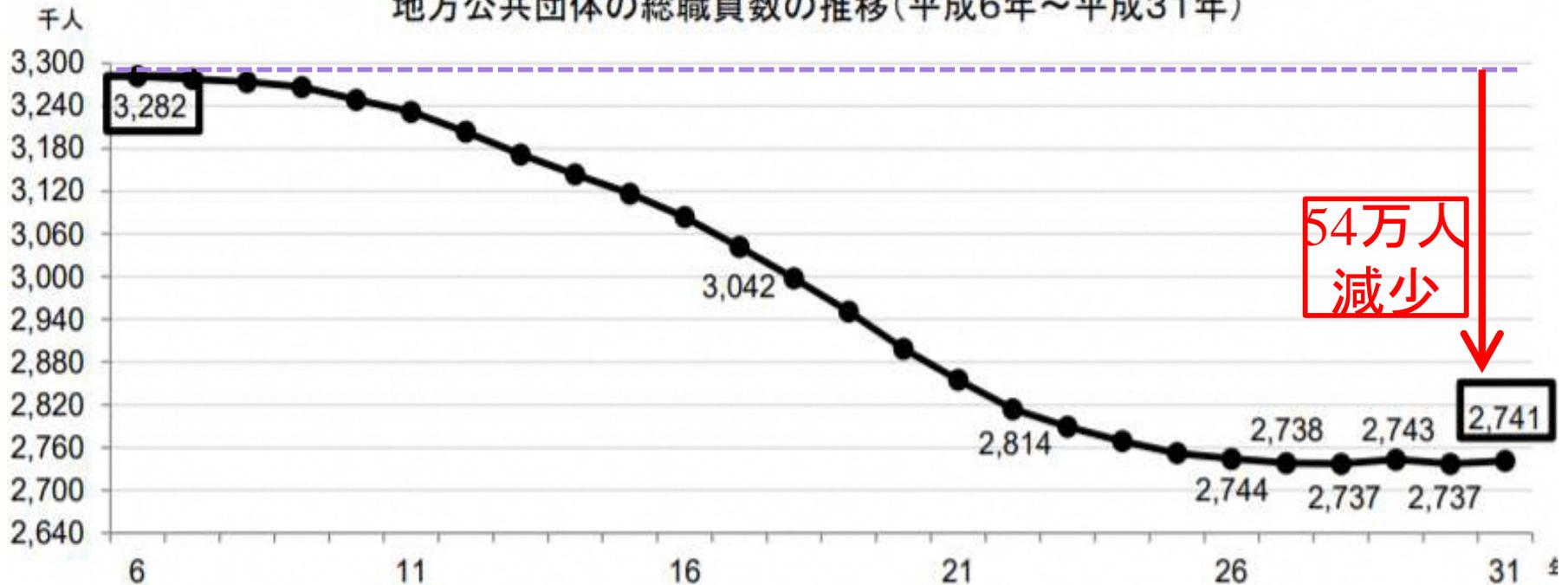


公助にも限界が...

自治体職員は25年で16.5%減！

出典：総務省HP

地方公共団体の総職員数の推移(平成6年～平成31年)



2011年3月11日 東日本大震災

死者: 19,636名

行方不明: 2,533名

避難者数: 約4万3千名
(復興庁2020.8)

計: 22,169名

(消防庁: 2019.3)

震災関連死: 3,739名: 復興庁2019.12



鵜住居地区



両石地区

東京大学大学院
片田敏孝教授提供

釜石市鵜住居地区

誰が逃げるのを支援したか？

- ・第1位 85人 家族・同居者
- ・第2位 60人 近所、友人
- ・第3位 53人 福祉関係者
- ・第4位 11人 消防・消防団

内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」(東日本大震災時、315人、複数回答あり)2013年

⇒近所・友人と福祉関係者の支援力が強い！

東日本大震災 死者の教訓

○高齢者が約6割、障がい者死亡率は2倍

・体力がない、地域とのつながりが弱い

⇒近所や福祉とのつながりが大切

○自治体職員221名、消防団員254名

(H25. 9.9NHKオンライン) 民生委員56名。福祉

施設職員86名 (H23. 12. 13河北新報社)

・守り手、支援者の危機管理能力が弱い

⇒人・組織の危機管理能力向上が必要

○3,739名の震災関連死 (2019.12復興庁)

・95%が66歳以上、移動や避難所で衰弱

⇒福祉防災計画が必要！

大地震の発生確率(30年)

南海トラフ地震(M8級) 70~80%
首都直下地震(M7級) 70%

◎30年確率

- 火災で死傷する確率 0.2%
- 交通事故で死亡する確率 0.1%
- 交通事故で負傷する確率 10%
- ジャンボ宝くじで100万円以上当たる確率
(年4回20枚ずつ買った場合) 0.7%

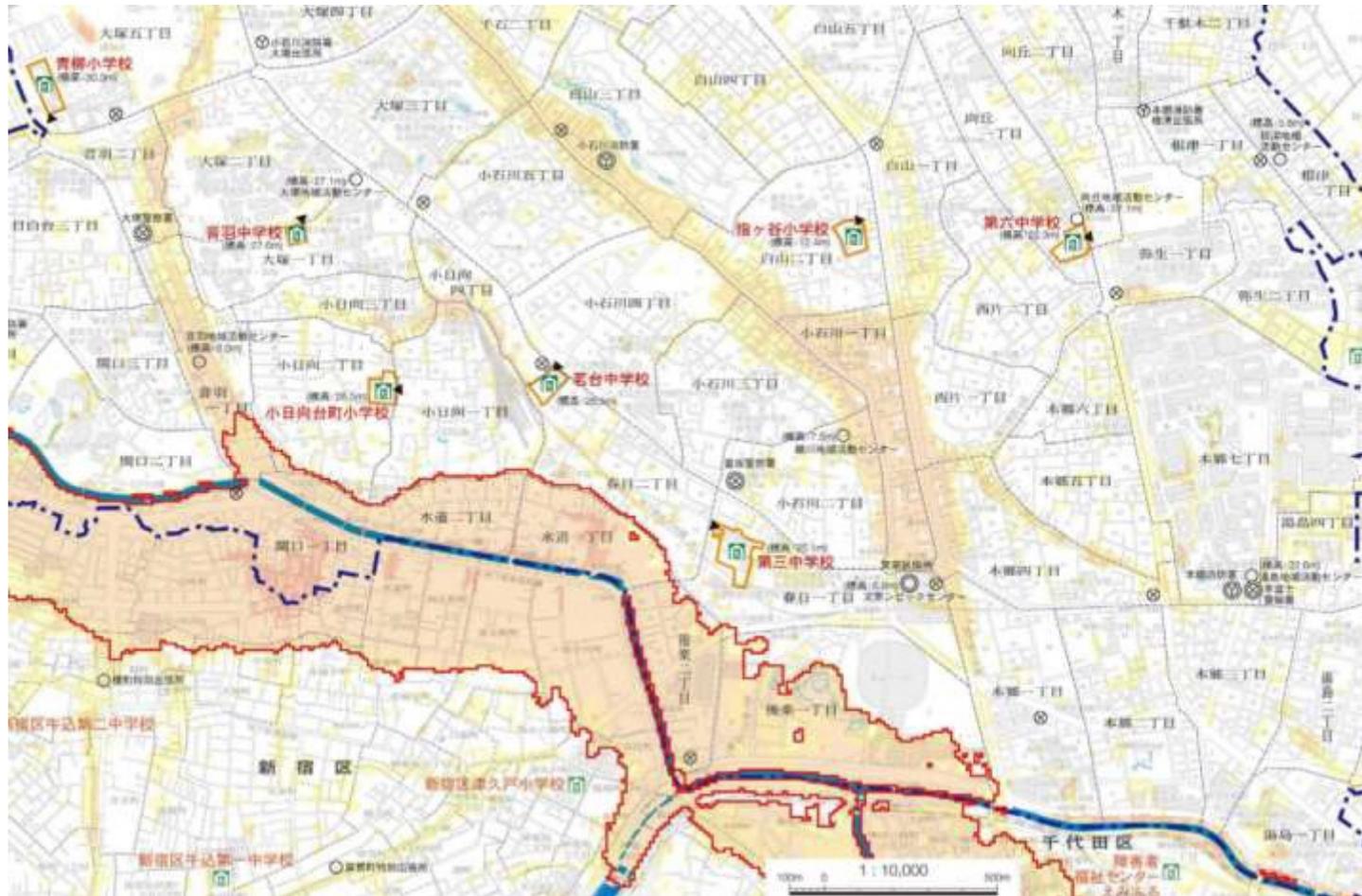


文京区水害ハザードマップ

総雨量690ミリ、時間雨量153ミリ

⇒九州北部豪雨(朝倉市)545ミリ(48時間)

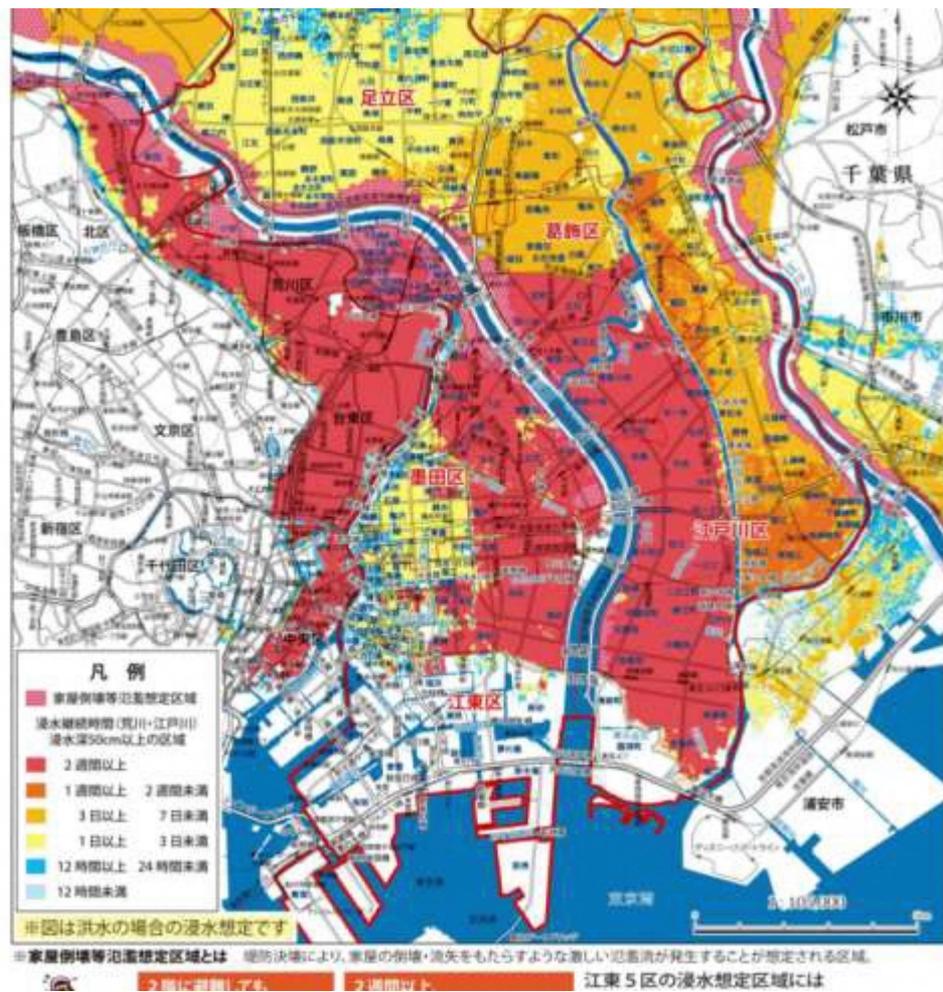
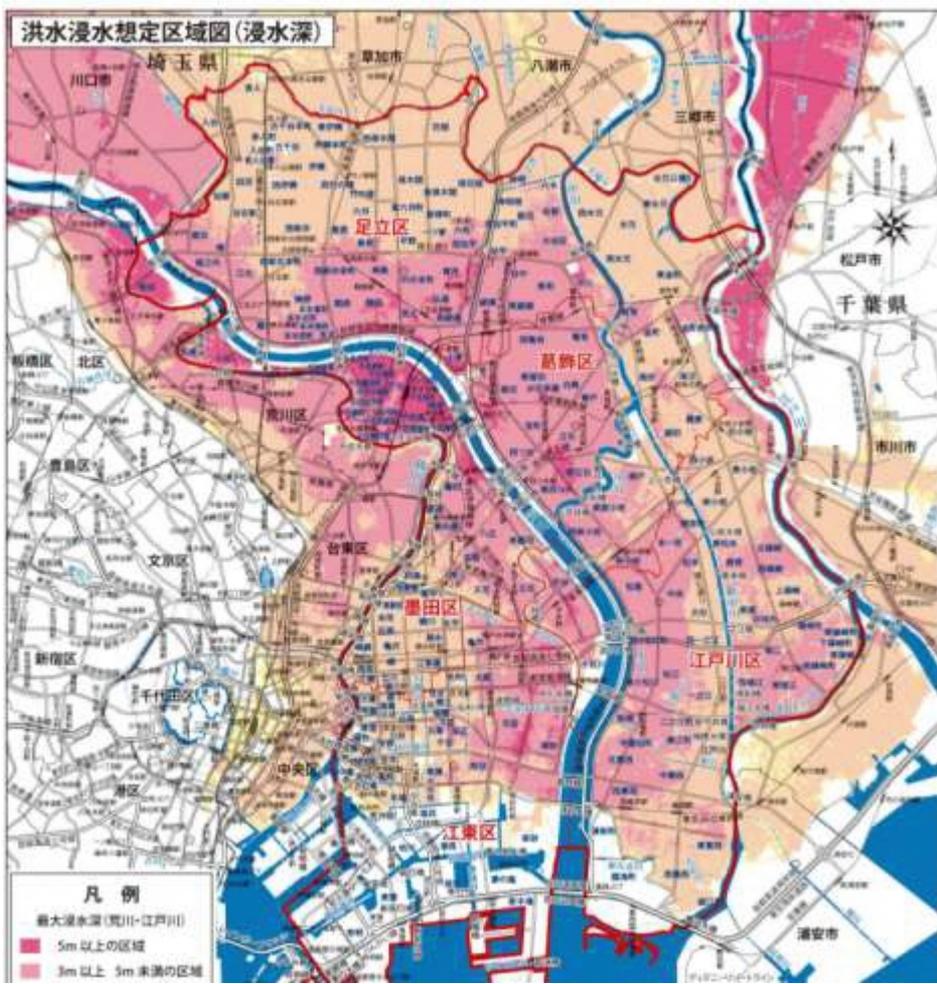
⇒関東東北豪雨(日光市)550ミリ(24時間)



文京区は江東5区水害の支援者！

荒川：3日間総雨量632ミリ

江戸川：3日間総雨量491ミリ



○なぜ、人は備えな
いののか？

○なぜ、行政、企業等
の災害対策の優先順
位は低いのか？

正常化の偏見

「自分は大丈夫！」

…自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価してしまう人間の特性

ex)逃げない非常ベル

…初着のリスク情報の無視

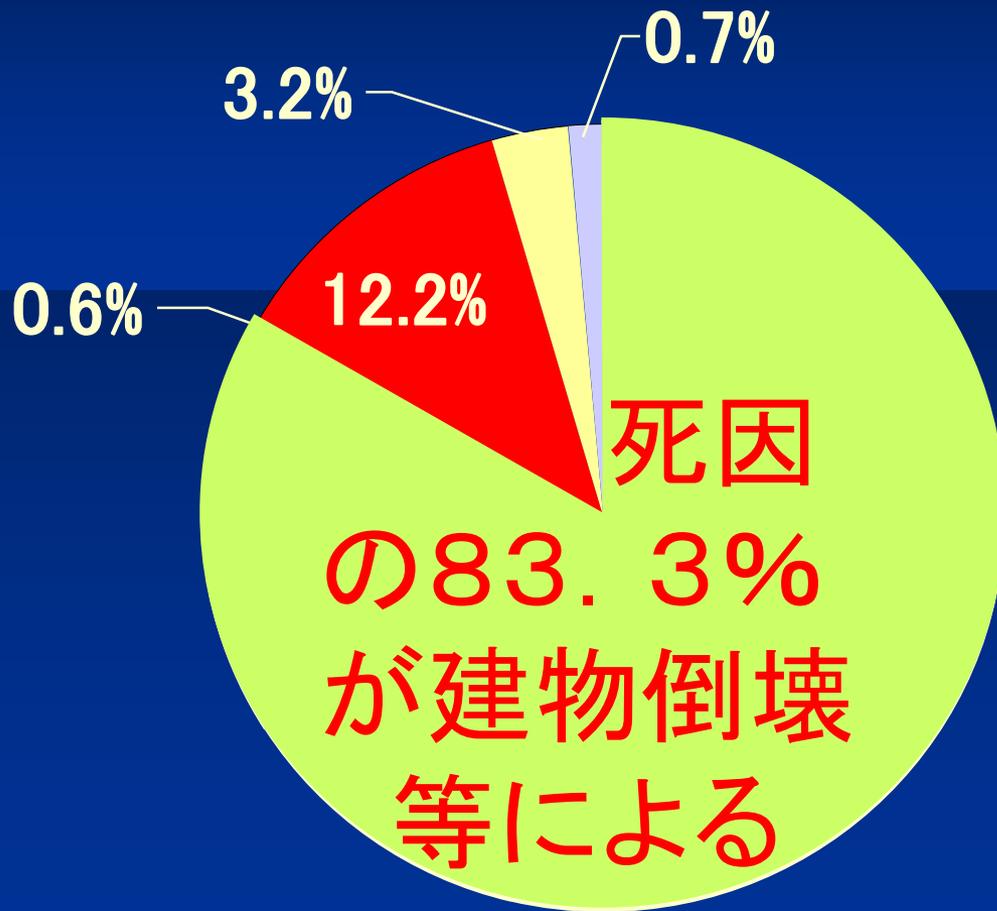
大地震発生直後、あなたは家族と自宅
にいました。何をしますか？

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

地震災害のボトルネック
は弱い木造住宅と、木造
住宅密集市街地

⇒住宅耐震化が
一丁目一番地

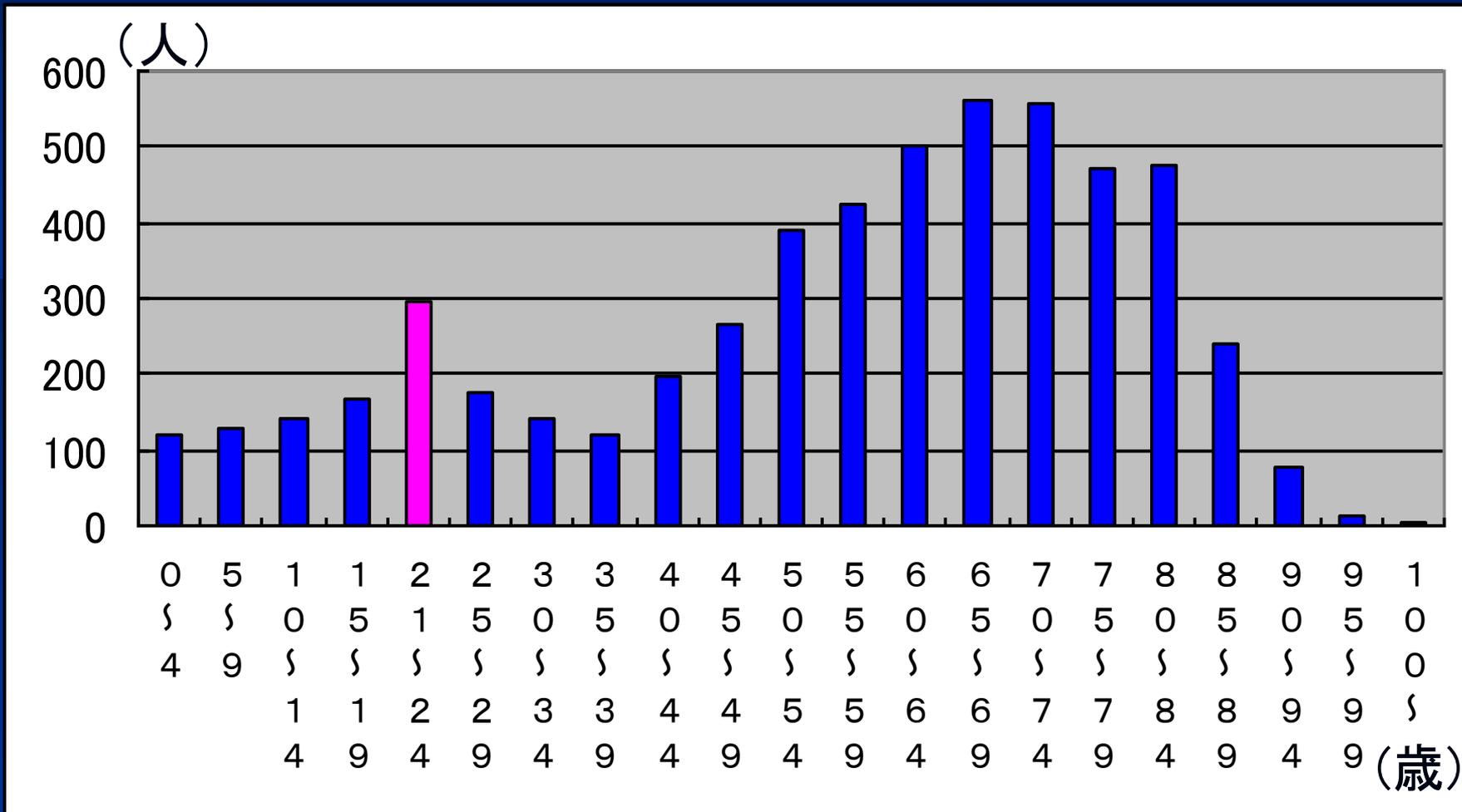
凶器はマイホームだった！！



- 窒息
- 圧死
- ショック・損傷
- 打撲・挫滅傷
- 臓器不全・凍死・衰弱死
- 焼死・全身火傷
- 不詳及び不明
- その他

兵庫県南部地震による
神戸市内の死者(関連
死を除く)の死因分析

お年よりと若者に犠牲が集中した 壊れたのは、古い家や木造アパートだ

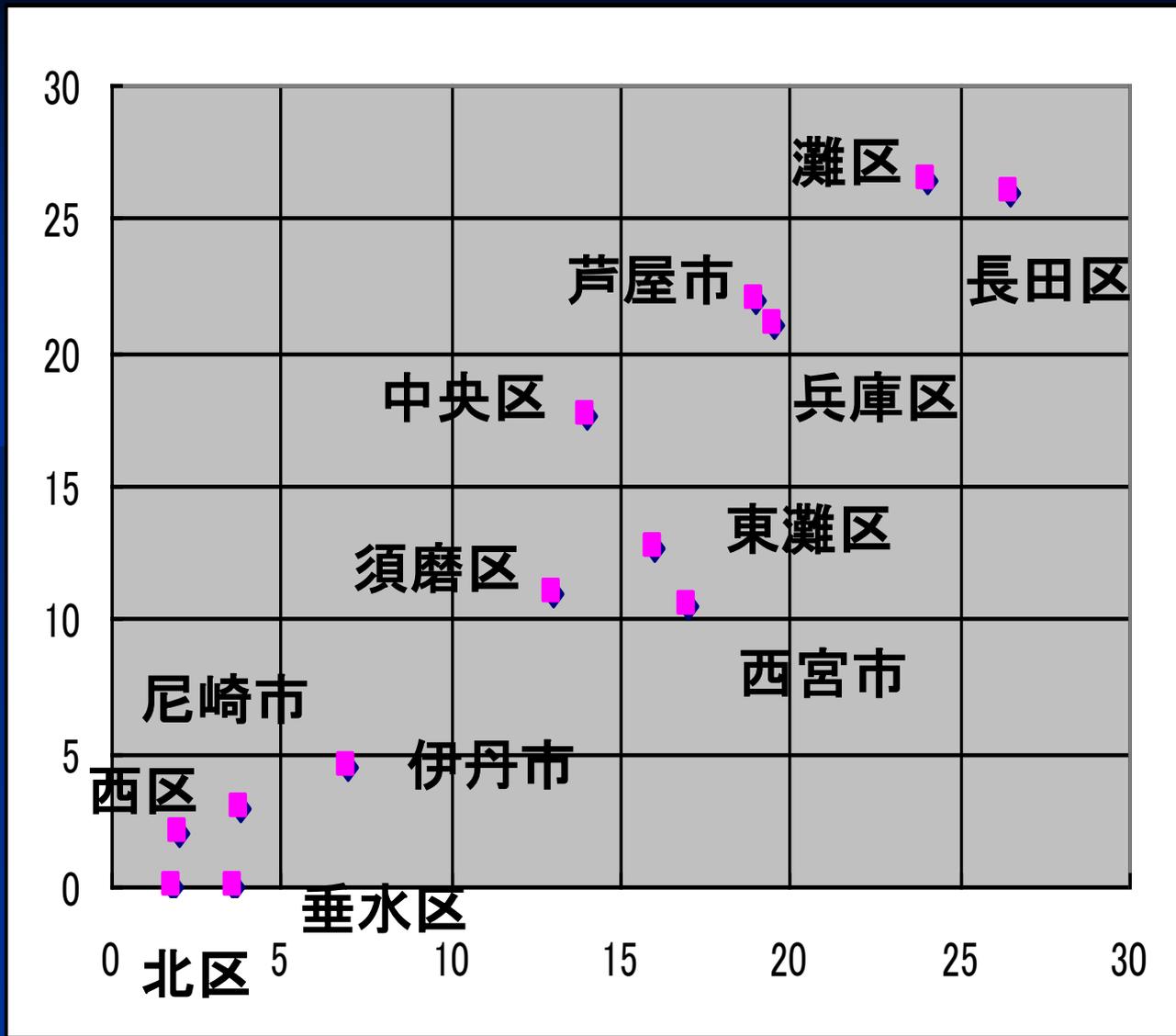


年齢別死亡者数

『国民衛生の動向』; 厚生統計協会 1996年

家が壊れないと火事を出ない！

消防庁ホームページより



建物全壊率

直後出火率

(午前7時までの十萬世帯あたり出火件数)

地震防災戦略フォローアップ

■平成17年3月 東海、東南海・南海地震
を対象に地震防災戦略策定

■3年後に戦略の効果測定



●想定死者数約4000人減少、経済被害11兆円減少

→根拠：死者数の半数、経済被害の7割
は住宅等の耐震化の効果による

住宅耐震化は公助で！

最も効果的な長期投資！⇒公共の役割

全国の木造1000万戸の耐震化

しない



30年間の
地震被害
300兆円～
500兆円

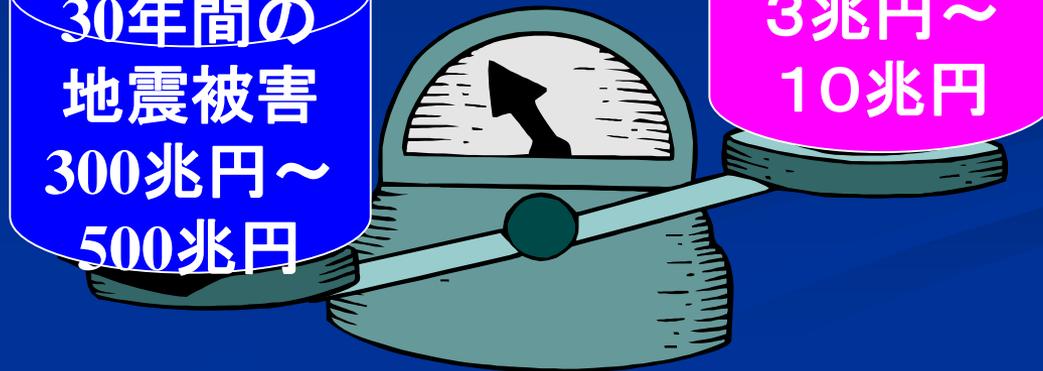
30年間の
地震予測

する



耐震化
3兆円～
10兆円

※1戸あたり
30万円～
100万円



耐震化政策の新戦略

現状は持ち家・高所得層のみ支援
⇒セグメント別の対策必要

[1] 持ち家・高所得
⇒耐震補強を支援する
(現在は3分の2補助)

[2] 賃貸・高所得
⇒耐震性の公表 (新)

[3] 持ち家・低所得
⇒地域丸ごと耐震化
(新)

[4] 賃貸・低所得
⇒地域丸ごと耐震化
(新)

高齢者標準社会の耐震化推進策

- 概要：高齢者は耐震化への意欲は高くないが、バリアフリーニーズは多い。経費があまりかからない、合わせ技で進める

- ・ 部分補強

1.0を求めると経費が高すぎて耐震化が困難
⇒0.7の部分補強に補助

- ・ バリアフリーと合わせ技なら補助率UP.

- ・ 簡易補強にも補助

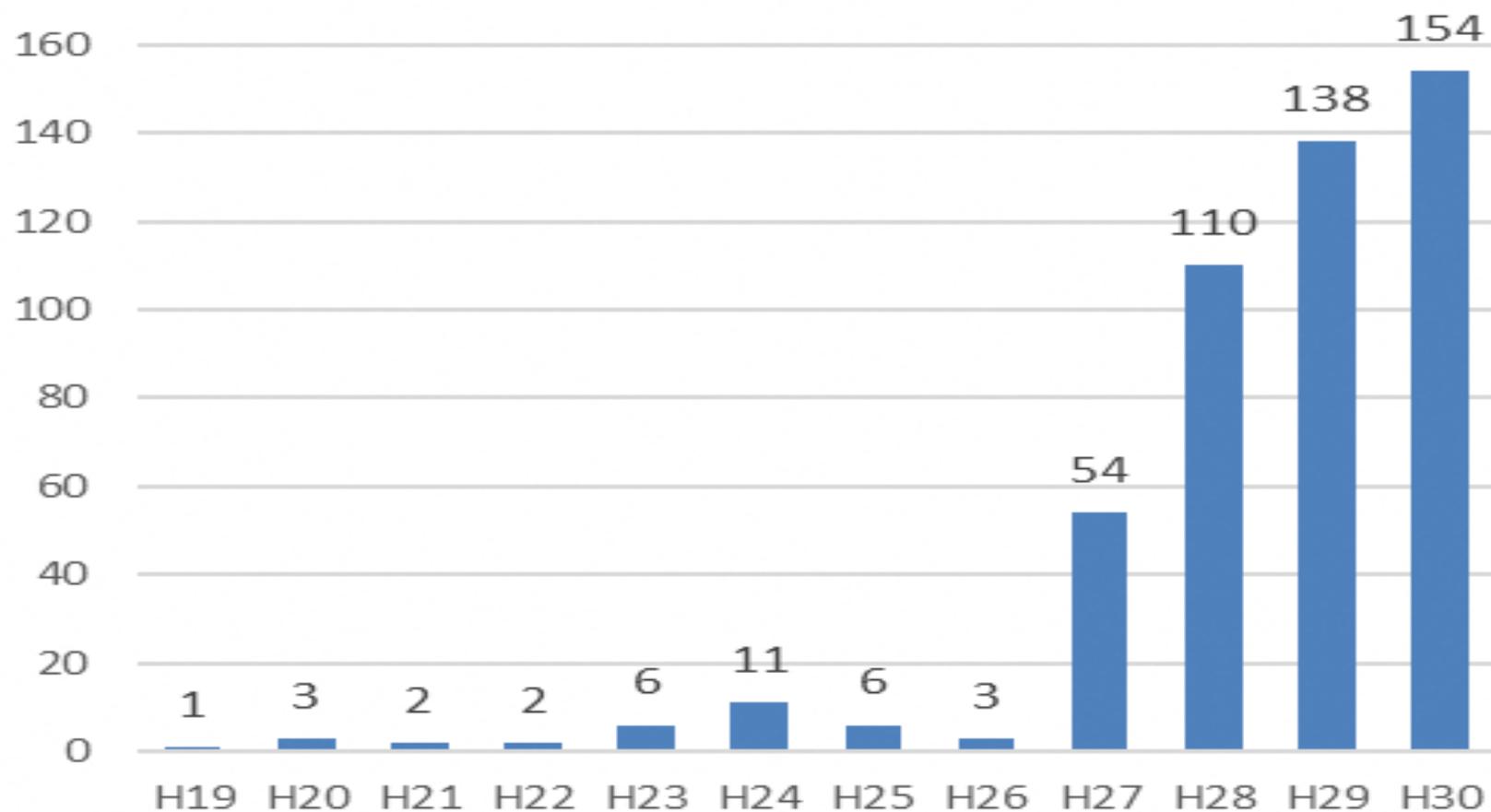
⇒墨田区337件実績



益城町倒壊住宅

黒潮町を例にすると

耐震改修実績(黒潮町)



黒潮町のある地区では



耐震改修に合わせて避難路側に勝手口を新設

この地区では、津波避難が必要な地域は、今年度でほぼ、耐震改修を終了する。避難路に面する住宅の耐震改修が終了し、確実に避難できる。

秘密1: 戸別訪問を徹底的に！

戸別訪問で耐震化の必要性を訴える
森富美男さん=右（黒潮町蜷川）

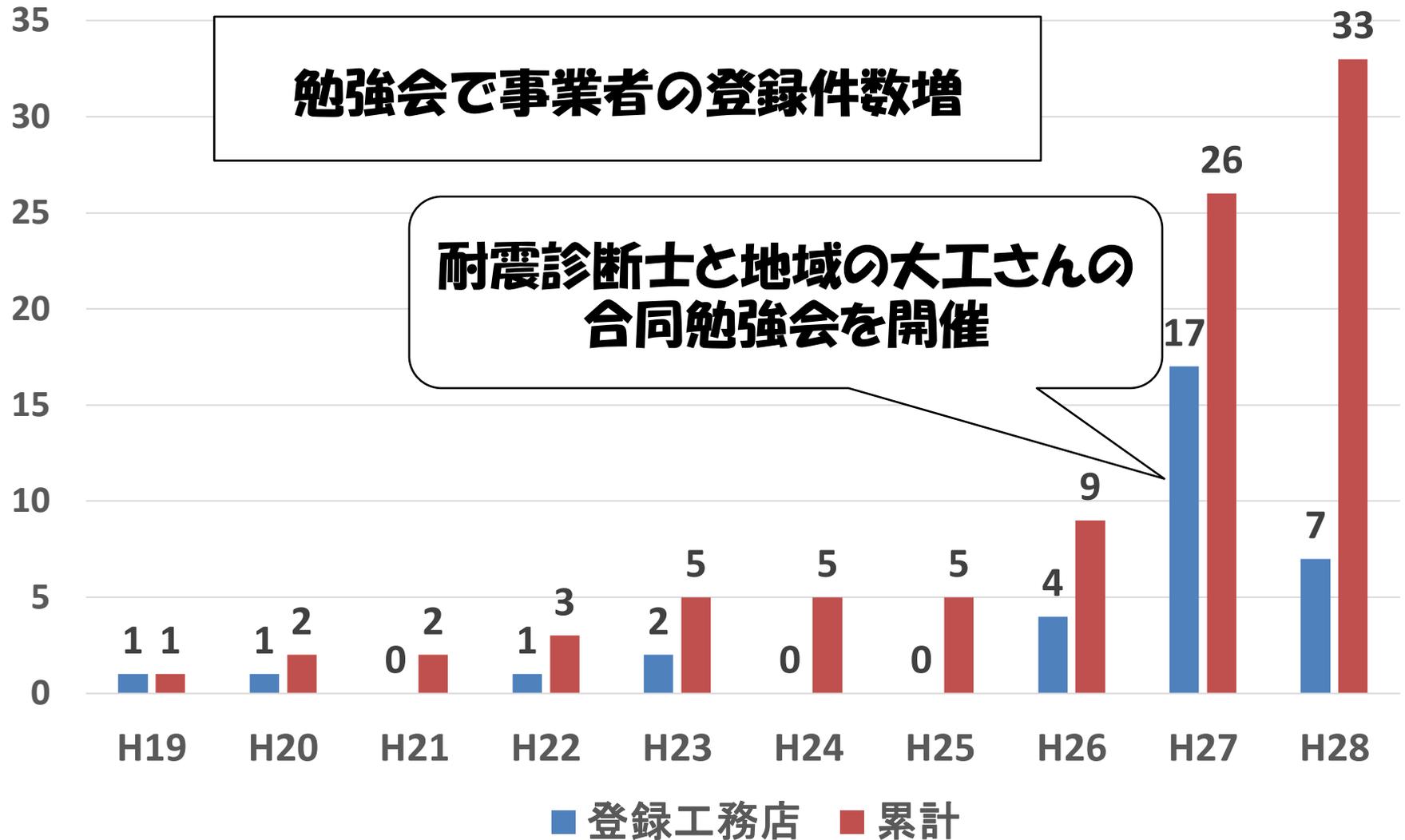


黒潮町では元郵便配達員を耐震改修の戸別訪問専任で雇って、戸別訪問を系統的に実施。

何回も周り、耐震改修に進むまで働きかけ。

秘密2:大工が耐震改修に参入

件



賃貸住宅は耐震性公表

- 概要：耐震診断、耐震性表示を義務付ける。耐震性がアパート選びの基準となる社会をつくる。大家は空室対応で耐震化を促進

- 木造アパートは耐震診断しなければ
 - ・ 昭和56年以前
「極めて弱いと推定」
 - ・ 昭和56年～平成12年
「弱いと推定」
 - ・ 平成13年以降
「一応安全と推定」

熊本地震で
1階が潰れた
南阿蘇村の
アパート



木密は地域丸ごと耐震化

- 概要：木造住宅密集地域へは小規模な**事前復興住宅**を建てる。耐震性のある住宅へのゆるやかな移動とオープンスペース作り。
（事前）震災復興まちづくり計画の中核！

- 効果

- ・ 木密地域の安全化
- ・ 中小工務店の仕事作り
- ・ 高齢者は住宅管理が楽になる
- ・ 移住の強制はない
- ・ コミュニティが壊れない

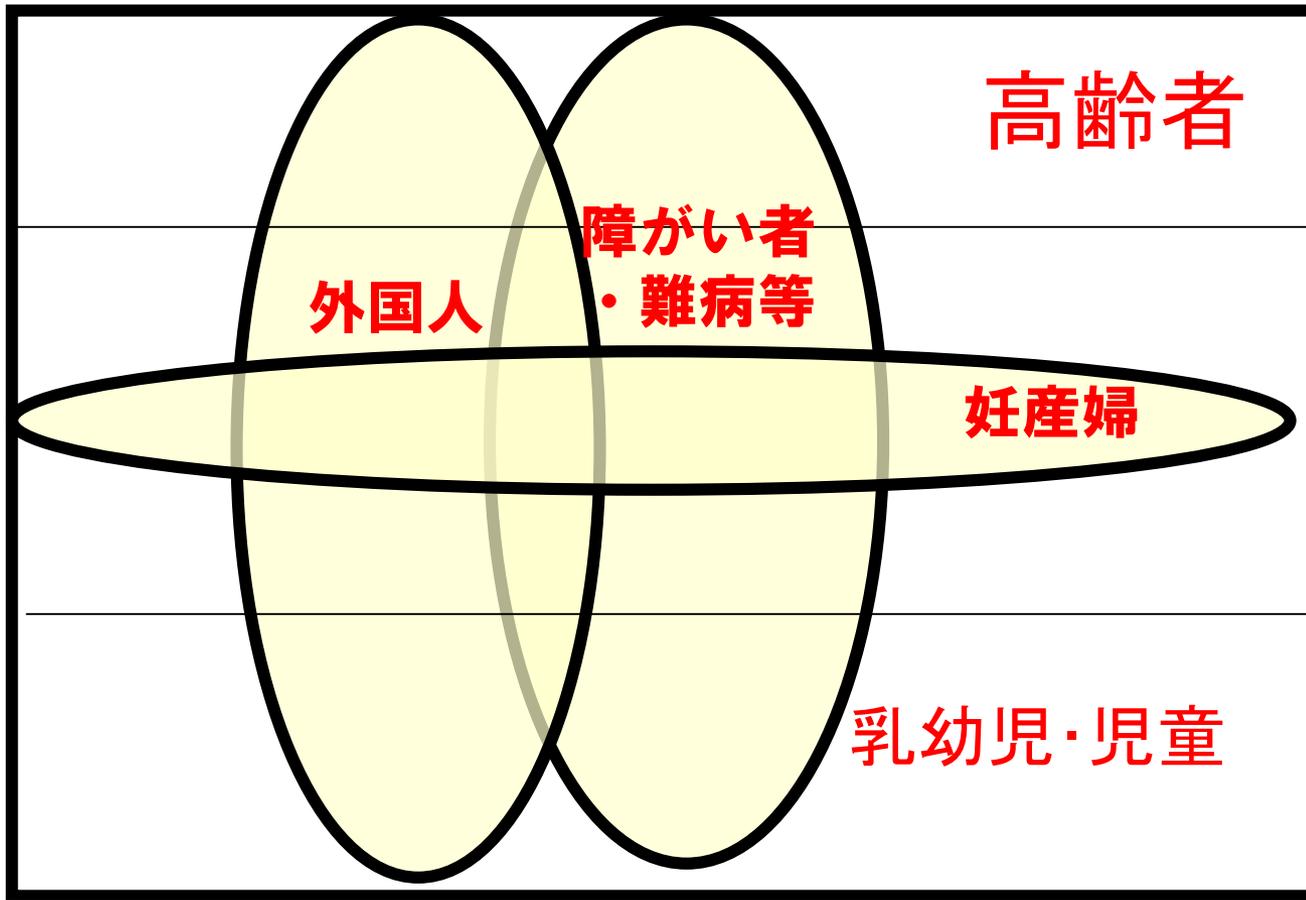


益城町中心市街地

チャンスはピンチの仮面をつけてやってくる

- 木密の老朽木造アパート
⇒ 防災住宅に建替支援
- 大胆な支援策が必要

災害時要配慮者とは？



災害後の要介護者認定数の増加

【東日本大震災（岩手・宮城・福島）】

- ・前年同期比24%増（石巻除く）
- ・福島県38%増、富岡町は約4倍
- ・増加理由は、「仮設住宅など避難先の生活の影響による心身の衰え」が最多

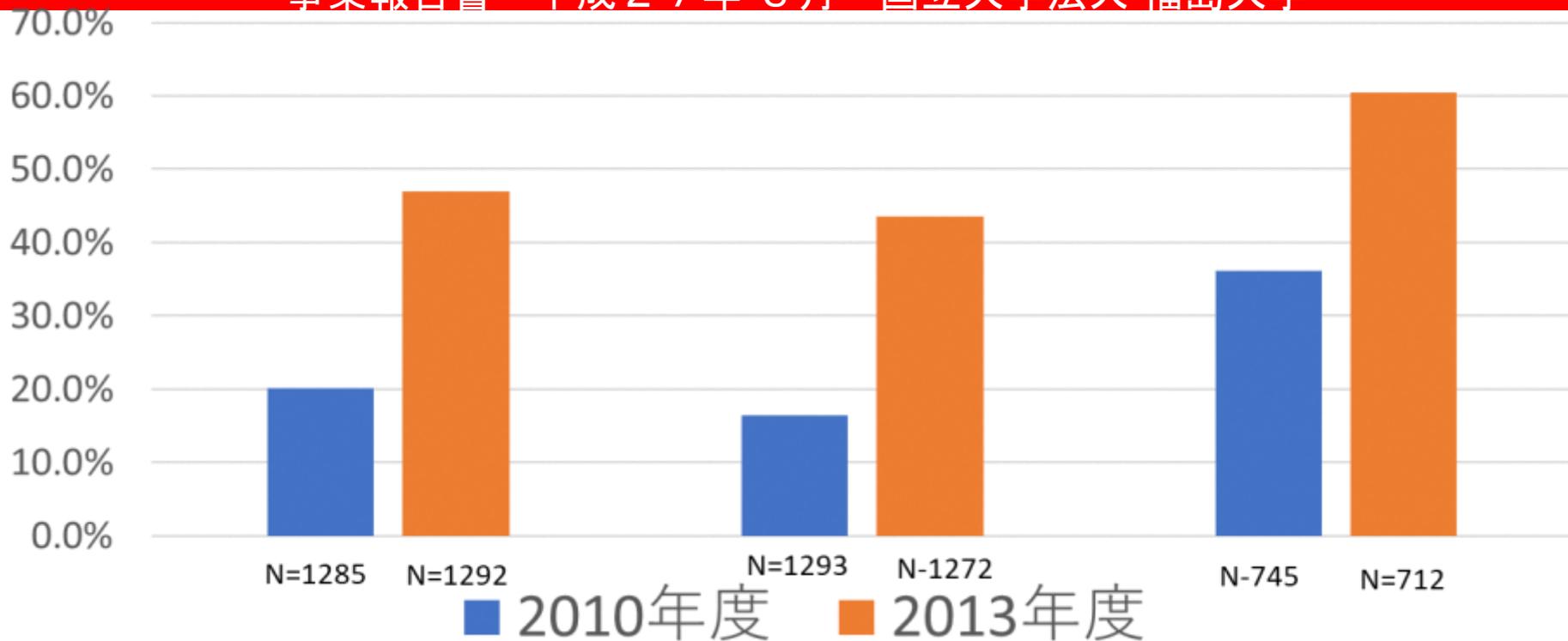
（出典：2012年3月4日16時46分 朝日新聞デジタル）

【熊本地震】

- ・益城町20%増、西原村18%増

うつ状態の要介護者が増える

福島県における要介護認定者増の要因分析による必要な支援のあり方に関する調査研究
事業報告書 平成27年3月 国立大学法人 福島大学



毎日の生活
に充実感が
ない

楽しんでやれ
ていたことが
楽しめなくなっ
た

以前は楽にで
きていたこと
がおっくうに
感じられる

災害関連死の状況

出典：消防庁他

災害発生日時	災害名	直接死者数	関連死者数	行方不明	合計	関連死割合
1995年1月17日	阪神・淡路大震災	5,483	921	3	6,407	14.3%
2004年10月23日	新潟県中越地震	16	52	0	68	76.5%
2011年3月11日	東日本大震災	15,897	3,739	2,533	22,169	16.9%
2016年4月14日	熊本地震	50	222	0	272	81.6%
2018年7月6日～	西日本豪雨災害	222	74	8	304	24.3%
2019年10月12日～	東日本台風災害	97	7	3	107	6.7%
2020年7月4日～	7月豪雨災害	82	?	4	86	?

2016年4月14日、16日熊本地震 最大震度7

益城町建物被害 全半壊6,259棟、一部損壊4,325棟、無被害156棟

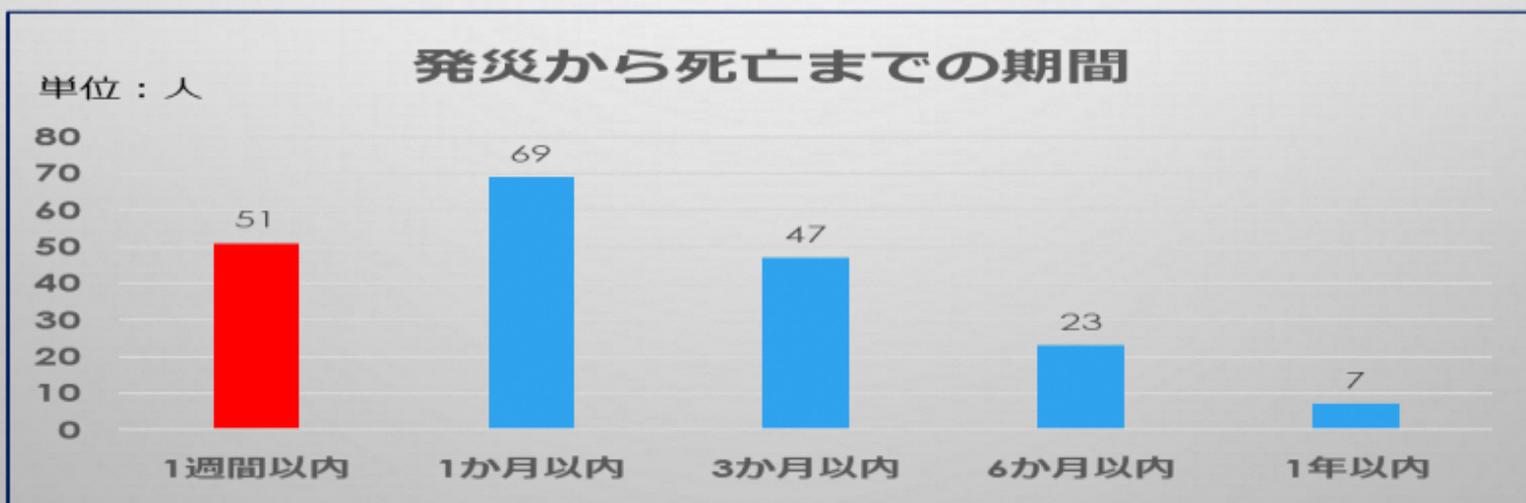
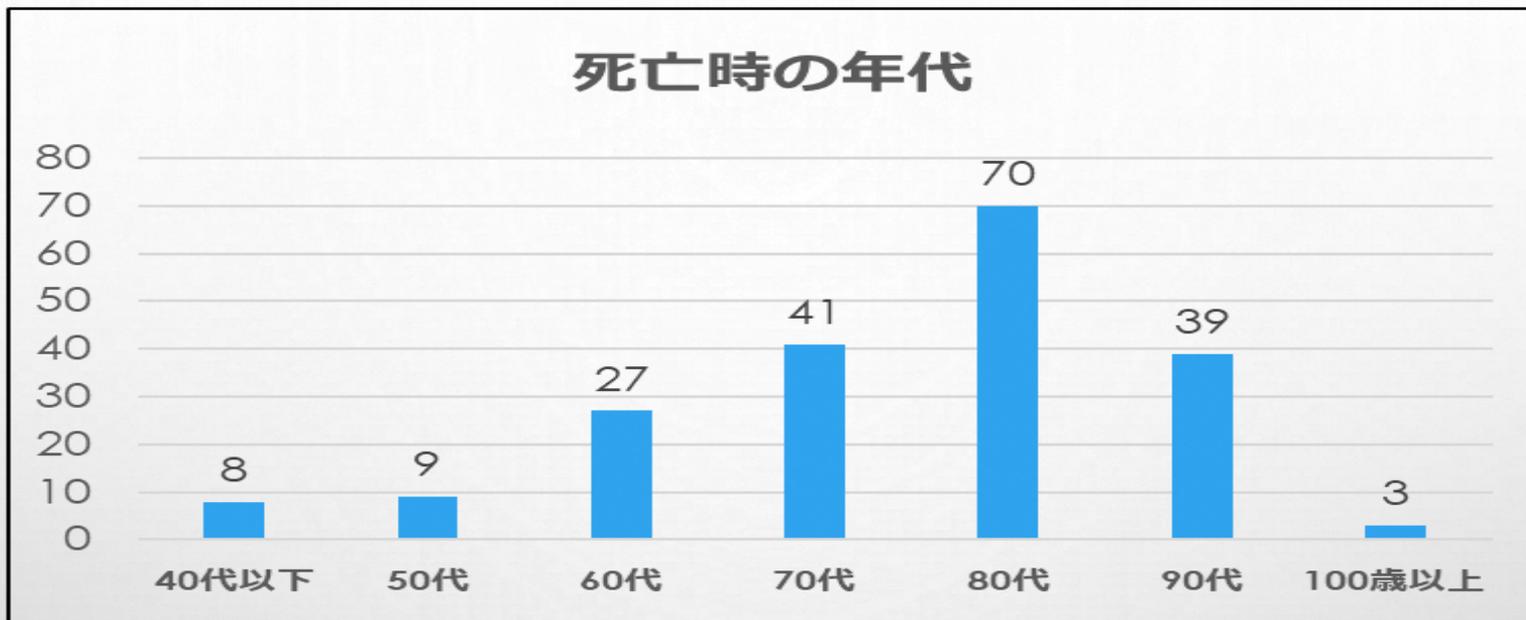
死者:272名(災害関連死:222名)(熊本県.2020.5.13)

最大避難者:183,882名



熊本地震での震災関連死内訳 平成29年12月末時点197人。

出典：「熊本地震の発災4か月以降の復旧・復興の取組に関する検証報告書」平成30年3月27日



熊本地震震災関連死 死亡時の生活環境区分

出典：「熊本地震の発災4か月以降の復旧・復興の取組に関する検証報告書」平成30年3月27日

生活環境	人数	割合
発災時にいた場所及びその周辺	11	5.6%
避難所等への移動中	0	0.0%
避難所滞在中	10	5.1%
仮設住宅滞在中	1	0.5%
民間賃貸住宅・公営住宅等滞在中	0	0.0%
親戚や知人の家に滞在中	7	3.6%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【自宅等】	78	39.6%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【病院】	24	12.2%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【介護施設】	16	8.1%
入院又は入所後1か月以上経過し亡くなった場合【病院】	47	23.9%
入院又は入所後1か月以上経過しなくなった場合【介護施設等】	3	1.5%
その他・不明	0	0.0%
合計	197	

高齢社会の災害

- 直接死

津波、浸水、火災からの逃げ遅れ、建物・家具の下敷き・・・

- 災害関連死

災害後の避難生活の困難さで、心身状況が急激に悪化

⇒ 最重要な応急対策は、災害関連死を防ぐこと！

要配慮者支援の課題

1. 避難行動要支援者名簿(法律事項)

キーは個人情報⇒住民自ら調査する(手上げ、全戸訪問)、行政との協定で情報入手

2. 個別計画(ガイドライン事項)

キーは福祉専門職⇒当事者参加、福祉専門職、地域住民+行政・専門家で計画化

3. 地区防災計画(法律事項)

キーは住民参加⇒地域住民+行政・専門家で計画化

4. 福祉施設の避難確保計画(法律事項)、BCP(推奨)、福祉避難所(ガイドライン事項)

キーは法人⇒法人+行政・専門家・地域住民で計画化

地域と福祉との連携

- ・ 地域は近いが専門性が弱い、夜は大勢いるが昼はみんな外に出ている
- ・ 福祉は、すぐには駆けつけられない、昼は人手があるが、夜は少ない

⇒一緒にやればええんとちゃうか！防災訓練と一緒に参加して課題と対策を話し合おう！

→水害避難時に傘をもってかけつけてくれた秋田の住民

→福祉施設の夜間訓練で避難誘導する長野の住民

個別計画＝災害時ケアプラン・ 災害時サービス等利用計画

福祉事業者研修⇒**当事者参加で
要配慮者支援の個別計画検討**⇒
地域との調整⇒**災害時ケアプラン
作成（7千円）**（兵庫県）

（例）避難のタイミング、避難場所、避難支援者、避難方法、避難所、連絡先、仲の良い親族・・・

※副次的効果：福祉関係者の災害対応力を高め、二次被害防止、地域防災力の向上

当面の個別計画作成方針は？

○優先度の高い人から作成する

・ハザードマップの**レッドゾーン**

・本人の**要介護度が高い**

・支援者の**支援度が低い**

自治体の福祉担当者、防災担当者が間に入って、**福祉専門職を**
中心に地域住民、民生委員等

市町村介護保険事業計画の 作成に関する事項

(第8期介護保険事業計画の基本指針等(2020.6.30)より抜粋)

11 災害に対する備えの検討(2021年度新設)

日頃から介護事業所等と連携し、避難訓練の実施や防災啓発活動、介護事業所等におけるリスクや、食料、飲料水、生活必需品、燃料その他の物資の備蓄・調達状況の確認を行うことが重要である。このため、介護事業所等で策定している災害に関する具体的計画を定期的に確認するとともに、災害の種類別に避難に要する時間や避難経路等の確認を促すことが必要である。

⇒事業継続計画(BCP)、福祉避難所なし

⇒居宅の要介護者なし

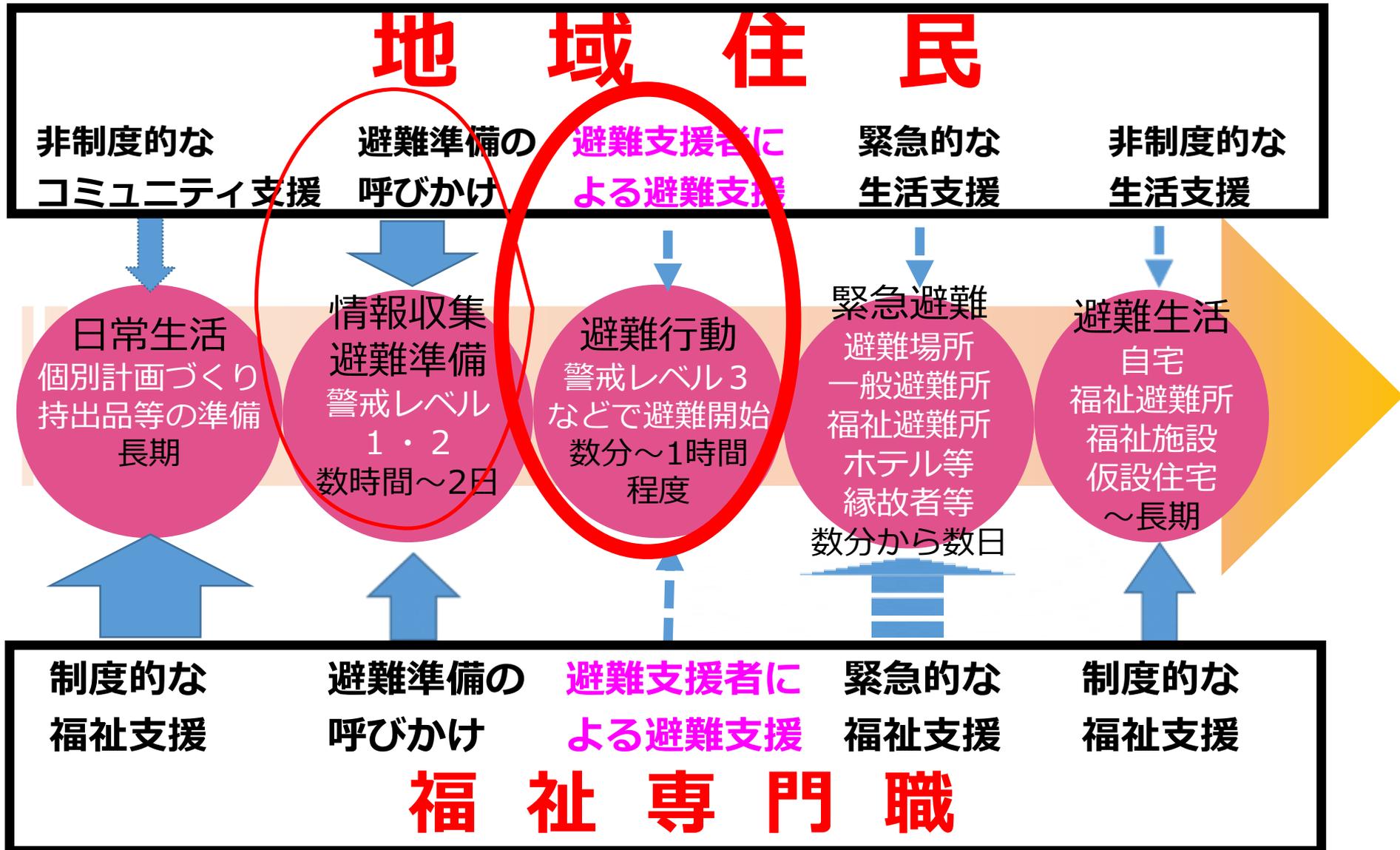
在宅の高齢者・基礎疾患者の 早急な支援が重要！

**在宅の高齢者・基礎疾患者等の早急な
見守り、体調管理、保健・医療・福祉・生
活支援が重要**（保健医療調整本部、地
域支え合いセンターの早期設置など）

※コロナ禍においては特に重要！

**⇒個別計画、地区防災計画等による安
全な避難支援、避難生活支援は関連死
の防止、感染症防止に効果があるのでは
ないか**

独居避難行動要支援者の避難ステージと支援者



令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難の在り方
について（中間とりまとめ（2020年10月28日公表）

個別計画の重要ポイント（1）

（個別計画の策定に係る体制）

○関係者のうち、特に介護支援専門員や相談支援専門員は、避難行動要支援者のうち介護保険サービス等の利用者について、日頃からケアプラン等の作成を通じて、避難行動要支援者本人の状況等をよく把握しており、信頼関係も期待できることから、個別計画策定の業務に、福祉専門職の参画を得ることが極めて重要であり、その手法について最終とりまとめに向けて検討する必要がある。

令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難の在り方
について（中間とりまとめ（2020年10月28日公表）

個別計画の重要ポイント（2）

（優先度の高い者から個別計画を策定）

- ・地域におけるハザードの状況（浸水想定区域（水防法））、津波災害警戒区域・津波災害特別警戒区域（津波防災地域づくり法）、土砂災害警戒区域（土砂災害防止法）等）
- ・当事者本人の心身の状況、情報取得・判断能力・独居等の居住実態、社会的孤立の状況

個別計画の策定にあたり、ハザードマップ上、危険な場所に居住する者については、特に優先的に策定すべきである。

令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難の在り方
について（中間とりまとめ（2020年10月28日公表）

個別計画の重要ポイント（3）

（個別計画策定の取組への支援）

○個別計画策定の中核的な役割を担うことが期待される人材※の確保と育成を支援する仕組みも検討

※中核的な役割を担うことが期待される人材

・防災・福祉部局、福祉関係者、地域を連結できる人材

・個別計画の策定に関与する知識・技術があり、参画する福祉専門職、民生委員、自主防災組織などの関係者 等

○市町村間で格差が生じないように財政的支援

○モデル地区を設定しPDCAで課題抽出と検証、改善を行い、これを全国展開

高齢者を支える福祉避難スペース



写真：熊本地震時の避難所となった福祉施設
熊本県益城町特別養護老人ホーム いこいの里提供

福祉避難所ガイドライン による誤解

- 市町村は、災害が発生し又は発生のおそれがある場合で、一般の避難所に避難してきた者で福祉避難所の対象となる者がおり、福祉避難所の開設が必要と判断する場合は、福祉避難所の施設管理者に開設を要請する。併せて、地域における福祉避難スペース（室）を開設する。
- しかし、以下の趣旨が抜けている
 - 福祉避難所の管理者が自主的に開設することを妨げるものではない。
 - 直接、福祉避難所に行くことを妨げるものではない。

障害のある避難者が 行き場を失う

- 東日本大震災後に行政に質問した（車いすの方）
 - Q：一般の避難所のバリアフリー化は？
 - A：少しずつ進めています。福祉避難所もありますから
- 実際にはどうであったか
 - 避難所
 - 多目的トイレ無し、階段、福祉避難室がない
 - 避難断る、手伝いを頼んで救急要請?!
 - 暴言、支援物資や配給を受け取るのが大変
 - 福祉避難所
 - 人手不足、開設できず...非公開、
 - 避難所でトリアージ、十分な支援受けられず。
 - 重度者は避難所にいけない。

今後の福祉避難所の方向性

現在、高齢者等に避難支援に関するサブワーキンググループで検討中

- 高齢者・障害児者等の個別計画で、福祉避難所施設との事前マッチングを行う。
- 福祉避難所はマッチングのできた者について、直接避難を受入れるとともに避難生活の場とする。
- 福祉避難所の負担軽減のため、受入れ者を限定した公示を行う。（例）〇〇特別養護老人ホーム（高齢者限定）、〇〇特別支援学校（障害児限定）

地域、自治体縦割りモデルの課題



福祉、防災、地域の連携で 「強み」を生かし「弱み」を補完 する避難支援体制



SNS情報の特徴

SNSの情報は事案が発生した時点で付近にいる人がスマートフォンで撮影した画像や動画と共に現場の状況をシェアするため、いち早く状況を覚知することができます。

報道機関（テレビ・新聞）も取材やヘリコプターの出動判断にSpecteeの情報を活用しています。

一例：京都アニメーション放火事件

2019年7月18日

■タイムライン

10時3X分
事件発生



11時25分
NHKニュースにて初報

10時40分
Specteeで速報配信

Spectee
速報数
48報

Specteeの特徴

ダントツの **速報性**、**正確性**、**網羅性** で災害現場の情報をワンストップで確認

Newsより早い速報性

京都アニメーション放火事件の初報時間

Spectee : 10時41分

NHK : 11時25分

24時間常時監視で「どこで」「何が発生したのか」をリアルタイムに発信

使いやすさ

タイトル

UIで高度な状況判断能力やITリテラシーは不必要

事象把握の簡易性

多様な通知性

音声読

アプリのプッシュ通知など通知方法

網羅性



主要SNSを全て監視
(Twitter・Instagram・Facebook・YouTube・その他)

正確性



言語解析×画像解析×人(ファクトチェックチーム)による正確性

選ばれる実績



独自特許による位置特定

中野IC付近上陸

独自の特許技術を駆使し、あらゆる角度から位置情報を取得

位置特定について

SpecteeはSNS投稿のテキスト以外の情報からも投稿場所を特定する技術特許を取得しています。

位置特定の一例

画像内の情報から特定

画像の中にある看板標識などから地名情報をテキストで抜き出し、独自の地名データベースと照合して特定。人間では識別が難しい荒い解像度でも、AIで判定できるレベルまで上げる技術の特許なども取得。



中野IC付近と特定

投稿者情報から特定

当該の投稿テキスト・画像に位置情報につながる投稿がなければ、その投稿者の前後の投稿やプロフィールを分析して想定情報として位置情報を判定。判定の粒度によって人によるチェックも実施。



大阪市生野区鶴橋
付近と特定

店舗屋号などから特定

当該の投稿テキスト・画像に直接位置情報と関連する情報がなくても、看板などに含まれる店舗屋号などを元に位置情報を推定・特定。AIで判定しきれない情報は人によるチェックも同時に行っています。



台東区浅草2丁目4-8
付近と特定

デマ情報への対策

専用データベースとAIによる一次チェック



- ・ テキストのパターン学習
- ・ 画像のマッチング
- ・ IDのブラックリスト化

問題なし

自動配信

問題あり

人によるチェックで
真偽を確かめて配信

事例：台風24号

2018年9月29日の投稿



専用データベース
にてチェック



2013年台風7号の際の画
像と同一と推定



完全一致でなくても類似性が高
いと判定されます。

拡散性が高く混乱を招きそうな
デマ情報の場合はお知らせ



採用実績

SNSリアルタイム緊急情報サービス 国内シェア No.1

350社以上で採用中
※2020年5月時点



官公庁・自治体 採用数 No.1



40自治体 5官公庁
危機管理課や消防など

民間企業 採用数 No.1



危機管理・BCP対策・広報
など広く採用中

報道機関 採用数 No.1



国内テレビ&新聞メディア
の9割以上が導入

バリアフリーで移動式トイレ

避難所のトイレ問題を改善する 自動ラップ式トイレ

仮設トイレの設置を待たずに即稼働できるポータブルトイレ。自動ラップ式なので避難所を清潔に保つことが可能です。



専用凝固剤を入れる

専用凝固剤を投入し、凝固を促します。
排泄物の水分を凝固させるために凝固剤を使用します。



スイッチのボタンを押す

排便後、スイッチのボタンを押してください。自動でラップが開始します。
消毒フィルムは自動で供給されます。



ラップ済み袋を取り出す

約90秒後、終了音（ピッピッポー）が鳴ると切り離し完了です。
蓋トナーを引き出し、ラップ済み袋を取り出してください。



外部給電器

こども福祉避難所で重要となる冷暖房機の稼働、精密機器に適した国内最大パワーの給電器

発災時の避難所でブラックアウトに備えるための給電器。精密機器に適した、交流波形の乱れが少ない「きれいな電気」を供給します。他の地域から電気自動車やPHEVでかけつけ、給電による支援を行うことも可能です。

HONDA Power Exporter 9000

主要諸元

定格出力：9.0kVA

出力電圧：AC100・200V（単相三線式）

周波数：50、60Hz（切替式）

電力変換方式：インバーター方式

重量：50.8kg

全長×全幅×全高：755×387×438mm

出力端子：100V×6口/200V×1口

適用規格：電動自動車用充放電システム
ガイドライン V2L DC版



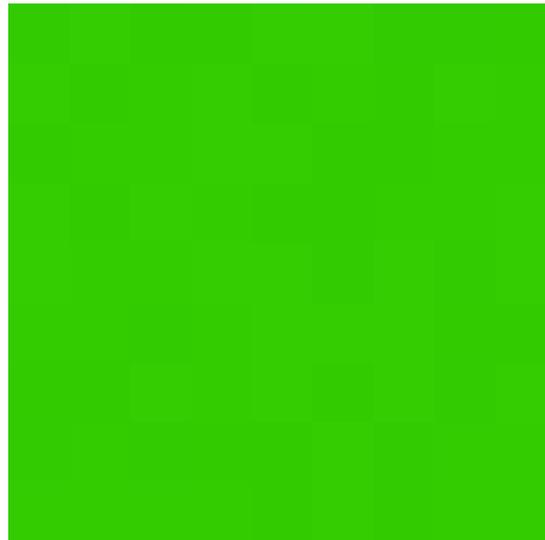
防災の正四面体

自助

(減災対策、家族情報、持ち出し品)

(新たな) 共助

ボランティア、
NPO、企業
など)→協定



近助

(従来からの共助)

近所、福祉、消防
団、自主防災会
など)

→地区防災
計画！

公助

行政(国、自治体、警察、消防、自衛隊)、病
院、学校など)→防災計画、BCP、広域連携

平成26年度 地区防災計画制度施行

地区防災計画は
弱くなった近助の
強化を主目的



⇒近助が強くなれば、
自助も公助も強くなる！

近助と公助の役割分担

公助1: リスクを科学的に把握する

公助2: 避難所を指定する

公助3: 避難勧告等を放送

⇒ 地域防災計画でソコソコできた！

近助1: 避難確認・安否確認する

近助2: 避難誘導する

近助3: 避難所等で支え合う

⇒ 地区防災計画がないと進まない

地区防災計画とは？

- 市区町村内の地区住民及び事業者が行う**自発的**な防災活動計画
- 住民と企業、NPO、ボランティア、学校、医療・福祉施設などの**連携**
- 市区町村への計画提案で**公的**な性格

➡市民の命を守る

「近助の計画」

地区防災計画は 「一緒に助かるため」の計画

NHK東日本大震災アーカイブスをご覧ください。

東日本大震災アーカイブス
～経典webドキュメント～

キーワードで動画検索



トップ トピックス 震災の記録 復興に向かって 教訓を生かす 放送予定 このサイトについて

助かるために

高齢のため早く動けない、聴覚に障害があり情報が入ってこない・・・。
自力での避難が難しい人たち自身が、命を守るためにできること、
備えておくべきことは…



助けるために

「近所のお年寄りを助けなければ」。
東日本大震災では、使命感を持った消防団員や民生委員が奔走しました。
しかし、そのために犠牲になった人も少なくありません。
自分の命も、他人の命も守るためには…



福祉施設では…

認知症や寝たきりのお年寄り、障害のある人たちをケアする福祉施設。
多くの人を避難させることも、避難した後の震品の中で、
利用者の命をつないでいくことも大きな課題です。
非常時への備えは…



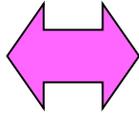
監修・解説：窪田 一（かきや・はじめ） 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授

（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事、内閣府「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドラインに関する検討会」委員、「TEAM防災ジャパン」アドバイザー、千葉県総務部防災課長、福祉部長。

地区防災計画がつなぐ自助・公助

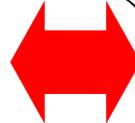


子ども

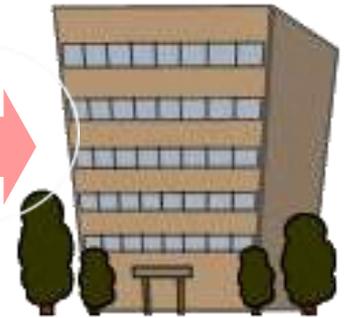
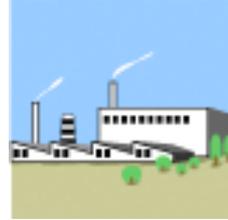


保護者

家族防災会議=
自助の計画



自治会＋地域関係者＋専門家



市区町村

地区防災計画＝近助の計画

地域防災計画＝公助の計画

地区防災計画の内容

- 地域の災害リスク把握
(+正しいコロナ対策の知識)
 - 安否確認の仕組み
 - 避難誘導の方法
 - 避難所の運営ルール
- 以上が中核。他に
- 自助の推進
 - 事前復興など

地域（近助）の役割

「こころ」の支援！

- ・ 心配され、気遣われるのがうれしい。
- ・ モノや手伝いは心を伝える手段。
- ・ 「こころ」の支援なら誰でもできる。
- ・ 役に立たない人はいない。

◎ 要配慮者こそ、すぐれた
「こころ」の支援者になる。

災害対策基本法の目的は十分か？

【災害対策基本法（1962年施行）】

国土及び国民の**生命、身体及び財産**を
災害から保護する

【介護保険法（2000年施行）】

（要介護等）の者が**尊厳**を保持し、その有する
能力に応じ自立した日常生活を営む

【障害者総合支援法（2013年施行）】

（障害者及び障害児が・・・）**尊厳**にふさわしい
日常生活又は社会生活を営む

災害対策基本法の目的の「身体」を 「尊厳」に変えよう！

- ・高齢者の逃げ遅れ・関連死が多い
- ・障がい児者が安心して避難できない
- ・授乳時には人にジロジロ見られる
- ・弁当は早く並んだ順に配られる…

これらは人の**尊厳**を守っていますか？

尊厳が守られなければ命も危ない！

防災（命）と福祉（尊厳）の連結を！

人生を幸せにするのは何？

ロバート・ウォールディングー「心理学者、ハーバード成人発達研究4代目リーダー」最も長期に渡る幸福の研究から 出典:TED.com(2016年2月2日)

- ・75年間724人の男性を追跡し 休むことなく仕事や家庭生活 健康などを記録
- ・1番目のグループはハーバード大学の2年生
- ・2番目のグループは極貧環境で育った少年達

人を健康で幸福にする
のは **良い**○○○○に
尽きる

これからの防災は？

損失を減らす防災から、

安全安心の「価値向上」
の防災へ

日常から人間関係、近所関係が
良好で、安全安心の地域づくり
が、災害や危機にも強くなる！

価値向上型防災の概念



◎価値創造、魅力増進への継続的取り組み

◎質の低下を最小に、早期に復旧復興を進める

⇒両方を実現する防災への取り組み

今日を愛し、明日に備える



古の善く勝つものは、
勝つべくして
勝つものなり
善く戦いて勝つや、
勇功なく智名なし

孫 子